認定 NPO 法人芦屋市国際交流協会

設立３０周年

記　念　誌

ASHIYA COSMOPOLITAN ASSOCIATION

認定 NPO 法人芦屋市国際交流協会

設立３０周年

記　念　誌

2014 年度～2023 年度 活動記録

ASHIYA
COSMOPOLITAN
ASSOCIATION

（ACA）

目　　次

ご挨拶　３０周年によせて　　会長　　戸田 敬二 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1
設立３０周年を祝う　　芦屋市長　髙島 崚輔 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2

Ⅰ．ACAの生い立ちと歩み・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・3
１．姉妹都市提携・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・3
２．学生親善使節と市民訪問団・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・3
３．国際交流協会の誕生・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・4
４．NPO法人格取得・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・4
５．潮芦屋交流センターオープン・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・4
６．指定管理者・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・4

Ⅱ．20周年から30周年へ（2014年度～2023年度）・・・・・・・・・・・・・・・・・5

１．強固な基盤づくりと広がる活動・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・5
（１）認定NPO法人となる・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・5
（２）ラ・モール芦屋の購入・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・5
（３）「作って食べよう世界の料理」レシピ本出版・・・・・・・・・・・・・・・・6
（４）多文化共生への取り組み　ワールドフェスタと「各国の日」・・・・・・・・・・6
（５）市役所でACA紹介展示・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・7

２．各事業委員会 活動報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・8

（１）国際事業委員会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・8
１．国際文化住宅都市芦屋の姉妹都市交流事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・8
２．学生親善使節（SA）事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・8
３．コロナ禍に伴うSA事業代替プログラムの実施・・・・・・・・・・・・・・・・１０
４．市民訪問団による交流・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１１

（２）国内事業委員会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１２
１．外国語教室活動・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１２
①大人のための外国語教室・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１２
ａ．教室活動・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１２
ｂ．コスモポリタンナイト・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１４
②子どものための英語教育活動・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１４
ａ．モンテベロ市学生親善使節の小学校訪問・・・・・・・・・・・・・・・１４
ｂ．モンテベロ市小学校教師招聘事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・１４
ｃ．絵やレターの交換・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１５
ｄ．イングリッシュ＆テニスくらぶ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１６
ｅ．「マシュー先生と遊ぼう」・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１６
ｆ．小学校英語指導者勉強会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１６
２．作って食べよう世界の料理・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１７
３．潮芦屋セミナー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１８
４．潮芦屋コンサート・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１８
５．俳句教室・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１９

（３）外国人支援委員会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２０
１．日本語教室・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２０
２．日本語ボランティア養成講座・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２０
３．ブラッシュアップ講座、やさしい日本語講座、自主的な勉強会・・・・・・・２１
４．外国人のための文化教室・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２１
５．神戸大学海事科学研究科、海技大学校への出張講義・・・・・・・・・・・２１
６．防災教室・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２２
７．文化祭・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２２
８．バス旅行（施設見学）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２３
９．外国人のための情報紙・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２３

Ⅲ．追憶
故　橋谷靜子元会長・館長を偲んで・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２４
両市の架け橋 Yae Aiharaさん・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２５
回想
戸田　祐一　　前会長　　２０周年から３０周年を振り返って・・・・・・・・・２６
髙橋　洋一　　前副会長・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２７
河井　俊彦　　前事務局長　　転換の年２０１８年・・・・・・・・・・・・・２８

Ⅳ．資料編・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２９

Ⅴ．イベント等ちらし・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・５８

Ⅵ．編集後記・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・６３



ご 挨 拶
３０周年によせて

認定ＮＰＯ法人 芦屋市国際交流協会　会長　戸田　敬二

芦屋市国際交流協会は1961年に発足した芦屋姉妹都市協会を母体として1993年に設立されました。国際文化住宅都市芦屋市にふさわしい国際交流協会を目指し、多くの先人の皆様のご努力のお陰で３０周年という記念すべき年を迎える事ができました。

創立年には、記念事業としてフィリピンのコラソン・C・アキノ元大統領をお招きし、国際シンポジウムの基調講演をして頂きました。10周年を迎えた2004年にはノーベル賞受賞者・小柴昌俊氏に、また20周年記念事業として楽天株式会社の会長兼社長の三木谷浩史氏に記念講演をして頂きました。

30周年記念事業は未だコロナの感染も懸念された為、モンテベロ市との姉妹都市提携60周年事業と合わせて当協会の看板講座である「作って食べよう世界の料理」をACA初の市販本として発売し、会員及び多くの支援者のお陰で、半年も掛からずに目標の販売数を達成いたしました。

当協会の30年は10周年誌、20周年誌にありますように決して平たんなものではありませんでした。2011年に潮芦屋交流センター設立と同時に指定管理者となり、1990年の自治省「国際交流協会設立指針」にある様に民営化を達成いたしました。当初８年間は随意契約で指定管理を頂きましたが、2019年からは公募に変わりました。ACAは引き続き潮芦屋交流センターの指定管理を頂きましたが、芦屋市からのご要請によりACAの本拠を潮芦屋交流センターから外部に移す事になりました。芦屋市のラ・モールの公募物件を最低入札価格の５割増しで購入し、ACA始まって以来の高額な出費になりました。また指定管理料の減額があり事務局の構造改革に加えボランティアの皆様のご協力により乗り越える構造にいたしましたが、2020年からのコロナによる休館等もあり経営的には大変厳しい５年間でした。

2020年から始まったコロナ禍は、途切れることなく続けてきたモンテベロ市との学生親善使節交流を３年間に渡り中断せざるを得ませんでした。2021年の姉妹都市提携60周年記念の両市市民訪問団の相互訪問事業も実施できませんでした。しかしコロナ禍でもオンライン等使い両市の友情は途切れる事が無く、2023年には学生親善使節事業を再開する事ができました。国内のイベントは感染対策を強化し一部を実施しました。英語・日本語教室もオンラインを活用して活動を継続し市民へのサービスを維持する事ができました。

2019年には、ごく少数のNPO法人が受ける認定NPO法人を、兵庫県の国際交流協会では初めて兵庫県から認定して頂きました。認定NPO法人になりましたので多文化共生事業等でも芦屋市の他団体に寄与出来る活動を心がけております。

当協会は国際文化住宅都市芦屋市の国際交流の拠点として多様化する市民のニーズにより効果的にまた効率的に対応し市民サービスの向上を目指してまいります。行政におかれましても当協会の30年或いは姉妹都市協会から数えて60数年にわたり市民ボランティアで成り立つ芦屋市国際交流協会の在り方を長期的な視点で捉えて頂き引き続きご指導ご支援をお願いいたします。

会員の皆様にはこれまでと変わらず協会の活動へのご理解と積極的なご参加をお願い申し上げます。



設立３０周年を祝う

芦屋市長　髙島　崚輔

芦屋市国際交流協会設立30周年、誠におめでとうございます。戸田会長はじめ、関係各位のご尽力に深く敬意を表します。

芦屋市は日本唯一の「国際文化住宅都市」です。令和６年で63年目となるアメリカ・カリフォルニア州のモンテベロ市との姉妹都市交流事業をはじめ、多岐にわたる国際理解事業を通じて芦屋市民の国際感覚の醸成に貢献していただいていること、感謝申し上げます。

令和３年度には、モンテベロ市より市民訪問団をお招きして「60周年記念事業」を行う予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から中止となったこと、大変残念でした。しかしコロナ禍においても、これまで姉妹都市交流に関わってこられた先輩方や、市内の中学生をはじめ多くの方がオンラインで交流を行い、絆を繋いでくださりました。令和５年度から改めて学生親善使節の交流が再開できたことは、芦屋市国際交流協会並びにモンテベロ姉妹都市協会のお力添えによるものと深く感謝しております。令和５年度に渡米した２人の使節からは、芦屋市の未来に対する貴重な提言も頂きました。自らのコンフォートゾーンから飛び出した２人。帰国後の報告会で目にした成長した姿に、海外に出る経験の重要性を改めて実感しました。

振り返ると、昭和36年にモンテベロ市と姉妹都市提携を締結した当時の本市の人口は５万７千人余りでした。阪神間の恵まれた立地特性、先人たちから受け継がれてきた美しい自然環境や、貴重な歴史・文化などにより、急激な発展を遂げた本市には、今日では９万3千人余りが暮らしています。海外の方も増え、今は63ヵ国・1,900人以上の方が住むまちとなりました。

様々な文化的背景を持つ方が芦屋市に住みたいと思ってくださっていることに、芦屋市の国際文化住宅都市としての成熟を感じるとともに、その礎には芦屋市国際交流協会の皆さまの長きにわたるご努力があることと感じ入っております。

これからも、芦屋を「世界で一番住み続けたいまち」にしていくために、また、次代を担う芦屋の子どもたちが世界に羽ばたけるように、変わらぬご協力をよろしくお願いいたします。

結びに、芦屋市国際交流協会の益々のご発展と皆さま方の一層のご活躍、ご健勝を心からお祈り申し上げます。

Ⅰ．ACAの生い立ちと歩み

ACA の沿革

1961 年　芦屋市が 米国モンテベロ市と姉妹都市提携
　　芦屋姉妹都市協会設立
1964 年　学生親善使節交換スタート
1965 年　第 1 回芦屋市民訪問団が モンテベロ市を訪問
　　アシヤパーク開設
1969 年　婦人英語教室開講
1973 年　芦屋市にモンテベロバラ園開設（岩ケ平公園内）
1993 年　芦屋市国際交流協会（ACA）として生まれ変わる
1994 年　国際文化事業スタート
1995 年　日本語教室スタート
2008 年　NPO 法人格取得
2011 年　潮芦屋交流センターがオープン、指定管理者となる
2019 年　認定 NPO 法人格取得
2023 年　現在に至る

１．姉妹都市提携



アメリカ・カリフォルニア州のモンテベロ市と姉妹都市提携が結ばれたのは、1961年５月です。アメリカのアイゼンハワー大統領が姉妹都市提携運動ピープル・ツー・ピープル・プログラムを提唱して、世界的に都市間の交流が盛んになった時期でした。1959年に大阪市で開催された太平洋沿岸市長会議に出席したモンテベロの市会議員イレーン・カーチナー氏と通訳をしていた芦屋市の高津厚子さんの交流がモンテベロ市と芦屋市との姉妹都市が実現するきっかけとなり、モンテベロ市長から芦屋市の内海市長宛てに姉妹都市提携の申し入れがなされました。芦屋市はかねて適当な都市と提携したいとの考えを持っていたので、早速モンテベロ市のことを調査した結果、都市提携を進めることを決め、芦屋市議会の決議を経て準備委員会を設置し、1961年５月24日精道小学校で両市の姉妹都市提携式が行われました。

２．学生親善使節と市民訪問団

1964年に始められた学生親善使節の交換は、途中阪神淡路大震災とコロナ流行により計4年間中断されましたが、その年を除き毎年行われ2023年で57回を迎えることができました。毎年夏休みを利用して２名の学生を相互に派遣し、４週間のホームステイで交流を深めて来ています。また、1965年に第1回市民訪問団が始まり、その後5年ごとに行われています。

３．国際交流協会の誕生

芦屋市国際交流協会は芦屋姉妹都市協会がその母体となり、1993年４月１日、姉妹都市協会の事業を引き継いで誕生しました。会長に井植敏三氏、理事19名、監事２名を役員とし、北村市長を顧問として発足し、事務局長は市の国際交流課長が現職のまま就任しました。会則にはこの協会が芦屋市民と外国人との交流、国際協力、国際交流に関する諸活動を行い、世界に開かれた地域社会作りと国際社会の発展に寄与することを目的に掲げています。行政の発案による設立であり、市の国際交流活動の委託や市との共催事業を行うことも大きな目的ですが、活動の主体は市民にあることを明示しています。総務・国際協力・広報・企画事業・友好姉妹都市交流の５つの委員会が相次いで発足しました。

４．NPO法人格取得

2007年8月28日に、中村副会長を中心とする「NPO法人化検討委員会」を発足させ検討に入りました。

設立趣意書、定款作成、事業計画、収支予算、役員の選任など必要な作業を取り進め、2007年10月22日の理事会承認を得てNPO法人移行を決定し、直ちにNPO法人の設立を兵庫県に申請しました。

その後、県における審査期間（4カ月）も経て、2008年3月21日に認証が下り、続いて法務局で設立登記の手続きを行い、その年度初めにあたる4月1日の日付でNPO法人芦屋市国際交流協会の誕生となりました

５．潮芦屋交流センターオープン



「芦屋市立 潮芦屋交流センター」は、芦屋市における国際交流と地域のコミュニケーションの拠点として、2010年に着工し、2011年3月に竣工しました。海洋町にあって、鉄筋コンクリート造りの地上2階建て、1階は受付とオープンスペースのほかに4部屋からなり、2階は調理スペースのほかに5部屋があって、うち3室は間仕切りを取れば100名以上入れる多目的室になります。このほか２つの駐車場と、屋外テニスコート3面を併設しています。市の指導のもと、2011年3月31日、NPO法人芦屋市国際交流協会は、大原町から海洋町に移転することとなりました。

６．指定管理者

ACAは潮芦屋交流センターの指定管理をうけるべく、その設置目的、管理運営の基本方針、管理施設の名称

と概要、供用開始予定日、管理の基準、管理組織体制、業務内容、協定の締結、備品の貸与、その他留意事項等々の内容を明示し、2011年度の指定管理者としての事業計画書、収支計画書などを作成、提出しました。2011年3月に議会の承認を得ることができました。

Ⅱ．20周年から30周年へ（2014年度～2023年度）

１．強固な基盤づくりと広がる活動

（１） 認定NPO法人となる

2016年1月に兵庫県主催の「認定ＮＰＯ法人制度」の説明会に、会長、副会長が出席しました。県下のNPOの中から「認定」が取れそうな団体を選んで県から声がかかったためです。かねてより「認定」について興味はありましたが、説明を聞き直接担当者と話をしてＡＣＡにとっては充分可能性があることが判り、このチャンスを生かすべきだと考えました。当面の課題は賛助会員の会費を千円値上げして３千円にすることでしたが、丁寧に説明をしたところ、皆さんの了解を得ることができました。認定申請には２年間の実績が必要ですが、2016～17年度の実績をもとに2018年8月に県へ申請し、2019年1月に無事認定を得ることができました。

認定NPOとは「運営組織及び事業活動が適正であって公益の増進に資する」団体として認定され、税制優遇措置が受けられる団体です。税金のこともありますが、何より重要なことは、社会的信用が格段に高くなることです。現在全国のNPOで認定されている団体は２％程度、芦屋市では２番目で、兵庫県下で国際交流の団体では初めてです。53年の歴史を持ち、社会的にも信用の高い団体として、今後ますます活発に活動を目指していきます。

（２）ラ・モール芦屋の購入

ACAはラ・モール芦屋から2011年度に指定管理者として潮芦屋交流センターに移り、以降センターの部屋やテニスコートなどの施設管理をしながら、国際交流関連の事業を続けています。

2011～2013年度の3年間、さらに2014～2018年度の5年間は随時契約として指定管理を続けました。2019～2023年度の5カ年分については初めての競争入札となり、入念な準備を重ね、無事5カ年の指定管理を落札することができました。さらに2024年～2028年度の5カ年も競争入札で指定管理を続けることが決まりました。

潮芦屋交流センターで活動を続ける一方、市からの要請があり独自の本拠を持つ必要がありました。そこで、以前ACAが入居していたラ・モール芦屋を2019年度に入札で芦屋市から購入しました。2020年４月から市民センターなどの部屋を借りて行っていた英語、スペイン語、日本語などの北教室の多くをラ・モール芦屋に移し、また俳句教室を新設するなど新たな活動の場として利用しています。

（３）「作って食べよう世界の料理」レシピ本出版



芦屋姉妹都市協会から数えて60周年、ACA設立30周年の記念事業として、2023年3月に「作って食べよう世界の料理」レシピ本を発行しました。

25年間の全レシピの中から100レシピを厳選し、1年前の4月から料理再現と撮影が始まりました。姉妹都市モンテベロ市からのレシピや日本語教室の学習者のインタビュー記事、元学生親善使節の海外からの食レポなども掲載されていて、その国の食文化を身近に感じ、異文化に触れることができ、目標とした「世界の食文化と人が見える本」になりました。また、より多くの方にACAの活動内容を知っていただくために、各委員会の活動紹介記事も掲載しました。3月5日、ACA60周年記念「作って食べよう世界の料理」出版記念祝賀会が芦屋モノリスで開催され、約40名の関係者が集い、久しぶりの再会を喜び合いました。料理製作、撮影の苦労話など、和やかな雰囲気の中、楽しいひとときとなりました。
また、5月6日には朝日新聞の阪神版と神戸版にレシピ本についての記事が掲載され大きな反響がありました。

（４）多文化共生への取り組み　ワールドフェスタと「各国の日」



2013年に潮芦屋交流センターで第1回「ワールドフェスタ」を開催しました。1997年から行っている「作って食べよう世界の料理」の経験を活かし、食を通じて異文化を知っていただき、音楽とコラボレーションさせて多くの市民の皆様に楽しんでいただこうということが出発点でした。全ての委員会が取り組み協力し合う大きなイベントとなりました。

「世界の料理」は全て手作りで、メニューの選択、食材の購入から調理まで担当委員を中心にボランティアが担当。また手作りのカップケーキ、コーヒー、そしてローゲンマイヤーのパンなども販売しました。ステージでは、芦屋市を中心に活躍中の音楽やダンスグループの皆さんが、歌や楽器演奏、ダンスなどバラエティに富んだ内容を披露されました。

2016年から「外国人のための茶道教室」の皆さんによるお茶席も始まりました。2017年には、「世界のカレー」として6種類のカレーを販売。コロナ禍の影響で2020～2022年は中止となりましたが、2023年に再開。ミャンマーの皆さんやスリランカ友の会、”Colorful”さんも参加、手作りの料理やクッキー、紅茶の販売などをしていただきました。また食器類を中心にバザーも開催。ステージには潮芦屋交流センターの利用者方を中心にパフォーマンスが行われました。普段の練習の成果を発表する子ども達に熱い視線を注ぐ家族の姿も見られ、地域の交流センターらしい手作りの暖かいステージになりました。



これからもワールドフェスタは多文化共生をベースとした地域の交流イベントとして、様々な繋がりを大切にしながら続けていきます。

2014年に「ロシアの日」を開催して以来、「ヨルダンの日」「ラトビアの日」「インドネシアの日」「タイの日」、2020年２月には「ドイツの日」を開催しました。ところが、その直後に新型コロナウィルスの感染が広がり開催ができず、2023年３月、ようやく「ミャンマーの日」を開催することができました。

これらのイベントでは、各国の大使、大使夫人、総領事、総領事夫人、有識者による講演があり、テーマはその国の歴史、文化、社会など多岐にわたります。その後は、その国の音楽や民族舞踊を楽しむことができます。時にはロシア民謡「カリンカ」に乗って輪になってダンスをしたり、参加者全員でインドネシアの伝統楽器を奏でたり、「ローレライ」などドイツの歌を一緒に歌うなど、和やかな雰囲気の中で交流を深めます。その国の美味しいお菓子とお茶をいただくことも楽しみのひとつとなっています。毎回、100人近い参加者があります。



その国について学ぶこと、社会や文化の違いを理解し、相互理解を深めること、そして人と人の関わりを持つことが、平和な世界へと繋がる小さな第一歩だと思います。

参加した皆様が、これまで遠くに感じた国を、帰るときには身近に感じられるような多文化共生、多文化創生を目指したイベントを今後も企画していきたいと考えています。

（５）市役所でACA紹介展示

芦屋市モンテベロ市姉妹都市提携60周年記念の一環として、市役所のブースにて2023 年３月７日から 29 日の間、「ACA紹介＆展示コーナー」を開設しました。連日多くの方々にお越しいただき成功裡に終了することができました。

展示は「ようこそACAへ」から始まり「ACAの生い立ち」、「ACAの組織と各委員会の紹介」、「姉妹都市との交流、モンテベロ市紹介、記念品展示」、そして60周年を記念して発行した「レシピ本“作って食べよう世界の料理” の案内と展示」と続きました。

同時に展示場の正面に終日「姉妹都市学生親善使節（SA）」紹介のアーカイブビデオを日本語版と英語版を

交互にモニターで放映し、過去に選抜された芦屋市のSA2名が芦屋市の代表として芦屋と日本の文化を紹介し、帰国後も交流を続け両国の懸け橋となっている姿を映し出しました。SA及びホストファミリーの募集ポスターや募集要項も掲示しました。



今後とも姉妹都市事業のみならず多文化共生・共創を目指し、在住外国人を対象とした活動（日本語教室、防災教室、文化教室など）や、文化活動事業（セミナー、コンサート、料理教室など）を推し進めていきたいと考えています。

2. 各事業委員会 活動報告

（１） 国際事業委員会

１．国際文化住宅都市芦屋の姉妹都市交流事業

1961年にアメリカ合衆国カリフォルニア州モンテベロ市と結ばれた姉妹都市提携に基づき、芦屋市、モンテベロ市に市民主体の姉妹都市協会が設立され、1964年には学生親善使節（Student Ambassador以下SA）事業が始まりました。SA事業は、阪神淡路大震災、コロナ禍を除き、途切れることなく継続しており、2023年は4年ぶりに第57回目を実施することができました。60年近く続いているSA事業では実に220名以上の日米学生たちが太平洋を越えて両市を訪問し相互理解と友好を深めています。また、1993年からは、ACAが姉妹都市交流事業を担い、毎年実施されるSA事業と、5年に一度、両市の市民訪問団による交流を行っています。2016年に実施された第55回市民訪問団交流では、看護師の訪問交流も行われました。（2021年実施予定の「姉妹都市交流60周年記念市民訪問団交流」はコロナ禍で中止）。また、2014年にはモンテベロ市よりシルビア先生が来芦。芦屋市の教師や児童・生徒達と交流を深めました。

２．学生親善使節（SA）事業

1964年以来、途切れることなく継続してきたSA事業ですが、2020年から2022年の3年間、全世界に蔓延したコロナ禍により、中止を余儀なくされました。1964年から2019年まで、毎年芦屋市から2名のSAを

モンテベロ市へ派遣し、モンテベロ市からも 2 名の SA を受け入れてきました。SA 事業は、ACA の全委員会、関係スタッフの総力を結集して行われる夏休みのプログラムです。モンテベロ市 SA の 2 名は、芦屋市に 3 週間滞在し、ホストファミリー宅に 1 週間ずつホームステイをします。滞在中は、市長表敬訪問、市議会視察、警察署・消防署訪問等、公式行事に加え、日本文化に親しむ「書道」、「茶道」、「華道」や「能」の体験学習や、芦屋市の小・中・高等学校を訪問し、日本の児童・生徒達と交流をします。ホストファミリーとは神戸、奈良、京都に加え、平和学習の一環として広島平和記念公園も訪問します。これらの行事には、国際交流に関心のある芦屋市の学生たちも Host Ambassador（以下 HA）として参加することができ、モンテベロ市 SA との友情を深めています。また、モンテベロ市 SA は、芦屋市滞在中、花火大会や、「ハワイアンの夕べ」などのイベントを通じて多くの市民とも交流します。

一方、芦屋市からも毎年 2 名の SA がモンテベロ市に 3 週間派遣されます。現地ホストファミリー宅に 1 週間ずつホームステイをします。日本では経験できないオープンカーに乗っての日系 2 世パレードや、大リーグ観戦等、楽しいプログラムに加えて第二次大戦中の日系人の歴史を知るため、「全米日系人博物館」の訪問、UCLA や USC 大学視察等、貴重な体験をします。日本とは異なる環境の中で経験を積むことで視野が広がり、国際的な活躍の場を目指すため、海外の大学へ進む SA も多く、姉妹都市交流の中核である SA 事業が、若者たちの国際感覚育成に大いに寄与できていることは喜ばしい限りです。



SA による両市相互訪問による交流は 7 月から 8 月にかけての 4 週間ですが、国際事業委員会における活動は SA 事業実施に向けて準備段階から始まり 1 年をかけて行われます。学生親善使節の両市訪問直後、9 月の帰国報告会が終了すると、年末にかけて翌年度の SA 募集に向けた準備作業がスタートします。芦屋市の「広報あしや」新年号に SA 募集要項が掲載され、それと併せ、年間スケジュールの策定、SA 募集説明会に向けての諸準備、選考試験（一次筆記試験・二次面接）における外部面接官の選定等を行います。また、春先から夏にかけて、芦屋市HAの選抜、SAの渡米フライトの予約、ホストファミリー（HF）の募集掲載、及び説明会が開催されます。これらと並行してモンテベロ市 SA の芦屋市滞在中の公式行事、及び個別イベントの企画と段取りを行い、SA 歓送迎会における市長、及び関係者の日程調整、送迎バスの手配、モンテベロ市との連携、HF 決定後のガイダンス、HA によるイベント企画や SA 対応等を確認したうえで、7 月の SA 事業本番を迎えます。この間、国際事業委員会だけでなく、国内事業委員会、外国人支援委員会にも協力を仰ぎながら ACA の総力を結集し、SA 事業を行っています。

2015 年度 SA の思い出

加輪上　創介



私がSAになったのは高校1年生の時で、きっかけは中学3年生で参加した学校の留学プログラムに不完全燃焼で帰ってきたことでした。

実際 SA になってみると、大満足どころか、濃密でホストファミリーの愛に溢れた一生忘れることのない 1 カ月になりました。

SA になってから 9 年が経った今振り返ってみると、自分の人生の 1 つ目のターニングポイントは SA になったことだったように思います。

モンテベロに高校生 2 人きりで行ったり、両市の公式行事に参加したり、大勢の前でスピーチをする機会が何度もあったり、大人との会議で発言したりと、皆さんの温かい目で見守られながらも緊張感のある場をたくさん経験させていただきました。こうした普通の留学や旅行では決して体験できない経験の一つひとつが今の活発な自分を作ってくれていると感じております。

このような素晴らしいプログラムが永遠に続くことを願っております。

3．コロナ禍に伴うSA事業代替プログラムの実施

2020年から2022年は全世界に蔓延したコロナ禍による海外渡航規制、水際対策強化、及び変異株流行に伴うロックダウンなどにSA事業も翻弄され、相互訪問を主体とする交流は、中止を余儀なくされました。ただ、



海外渡航規制により、両市間でのSA訪問は実施できなかったものの、1964年から継続してきた姉妹都市交流事業を風化させることだけは絶対に阻止しなければならないという危機感を関係者が共有し、代替事業を実施することで両市の友好関係の継続を図りました。

2020年は、芦屋市とモンテベロ市をZoomで結び、オンライン交流を実施しました。2020年7月12日に総勢60名（両市から30名）が参加し、開催されました。進行役のモンテベロ市交流協会エマ・デルガド会長の挨拶から始まり、ACA戸田敬二会長、伊藤芦屋市長、田中明副会長、そしてモンテベロ市メレンデス市長のスピーチと続き、その後、両市元SAによるビデオメッセージや、芦屋市で事前に取ったアンケートに基づき作成した過去のSAに関するクイズ等で大いに盛り上がりました。笑いあり、涙あり、飛び入り参加あり等、あっという間に3時間が経ちました。最後にZoomで集合記念写真を撮りましたが、終了後も参加者一同、名残惜しく、なかなか退出できず、その後のSNSでの反響も大きく、多くの絶賛の言葉が後を絶たず、盛況裏に終了しました。

2021年も前年に引き続き、姉妹都市交流が中止となりました。SA事業の代わりとして60年に及ぶ姉妹都

市交流や、両市の強い絆を、その始まりから現在に至る写真や動画を再編集して「アーカイブビデオ」に纏めました。同ビデオは、モンテベロ市でも芦屋市との交流を広く知ってもらうため英語版も製作しました。
上記ビデオは、芦屋市の中学・高校（山手中学校・芦屋県立国際高校・芦屋学園高校）へ配布し、学生たちに姉妹都市交流の在り方や、将来に向けた活動内容について意見やアイデアを出してもらいました。これらを纏めたレポートと英語版「アーカイブビデオ」をモンテベロ市姉妹都市交流協会に送り、交流を図りました。また、芦屋市民にも広く姉妹都市交流事業を知ってもらうためにホームページからもアーカイブビデオを閲覧できるようにしています。

2022年は、3年連続で姉妹都市交流事業が中止となりました。これに代わるプロジェクトとして、8月に「日米元SAによるZoom交流」を開催しました。芦屋市から7名の元SA、そしてモンテベロ市からも7名の元SAが参加して2021年に製作されたアーカイブビデオをベースにコミュニケーションを図りました。参加者全員がコロナ禍の前に交流したSAという事で、久しぶりのモニター越しの再会に大いに盛り上がり、互いの友情を確認しました。SA達からはコロナ禍の影響で3年間SA事業が実施できなかったのは大変残念だが、2023年こそはコロナ禍を乗り越えSA事業を再開し、両市の友好関係を繋げていきたいということが話し合われました。

姉妹都市交流事業にとってはまさに危機的状況であった未曾有の世界的パンデミックを乗り越え、2023年は実に4年ぶりにSA事業を再開できたことは芦屋市、モンテベロ市にとって、先ずはほっとすると同時に本当に喜ばしいことでした。また、4年振りの再開にあったっては芦屋市民・学生の方々の姉妹都市交流事業に対する関心、興味が低下したのではないだろうか？との懸念や危惧がありましたが、蓋を開けてみるとSA募集説明会には我々の予想をはるかに上回る応募がありました。また、ホストファミリーにも多くの応募があり、非常に心強い限りでした。HA達もそれぞれの役割を十分認識し、モンテベロ市SA達と充実した活動を共にすることができました。2023年のSA事業の再開を契機に、2024年以降も引き続きSA事業を継続、発展させることで、両市の友好関係の絆をより一層強固なものにしてまいります。

４．市民訪問団による交流



5 年ごとに芦屋市、モンテベロ市の市民訪問団が相互訪問による交流を行っています。春に芦屋市からモンテベロ市へ、秋にはモンテベロ市から芦屋市へ市民訪問団が互いに訪問をします。モンテベロ市では、牧場や、ワイナリーに招かれ、アメリカ式の歓迎パーティに参加し、通常の旅行では体験できないような行事を通じてアメリカ文化を学びます。これらの交流を通じ、多くの友情が育まれています。両市にまたがる友情と絆の深さは他市もうらやむ実のある姉妹都市交流につながっています。

2016 年は「姉妹都市提携 55 周年記念市民訪問団」が結成され両市を相互に訪問しました。また、当訪問には市立芦屋病院とビバリー病院の看護師交換プログラムが組み込まれ、従前の市民訪問団と比べ、内容がより一層充実したものとなりました。市立芦屋病院の看護師、矢ケ部康代さんはモンテベロ市滞在中、ビバリー病院

にて 5 日間、医療制度や看護師の仕事などについて学ぶ貴重な体験をされました。芦屋市からの訪問団は総勢 23 名となりました。市長、議長、芦屋市関係者、ACA 関係者に加え、一般公募の方々の参加もありました。
（訪問日程：2016 年 4 月 24 日～ 30 日）



上記の相互訪問として、同年 11 月 7 日から 13 日にはモンテベロ市よりアート・バラハス市長、エマ・デルガド会長を含む総勢 18 名の市民訪問団が来日されました。滞在中は芦屋市役所、警察、消防署、市立芦屋病院、岩ヶ平公園バラ園、幼稚園と小学校の訪問、だんじり祭りの山車見学を始め、書道体験等、盛り沢山のイベントが組み込まれたのと併せて、奈良、京都、広島、神戸への小旅行も実施されました。団員のおひとり、ビバリー病院のベテラン看護師、ローラ・ベリーさんは滞在期間に 3 日間ホームステイをし、市立芦屋病院にて研修を通して交流し、米国の看護事情についてのレクチャーをされました。（資料 P.40）



歓迎祝賀会では芦屋市長、議長、行政、議会からも多数の参加があり、歴代の SA 達も多数参加し、総勢 100 名を超える大パーティとなりました。

2021年は本来であれば記念すべき60周年市民訪問団による相互訪問を実施する予定でしたが、コロナ禍での中止を余儀なくされました。ただ、2023年は漸くSA事業を再開することができましたので、2026年には「65周年記念市民訪問団」を是非実現させることで、芦屋市民を含む多くの方々に、両市の歴史と友好関係の重みを改めて認識していただき、未来に向けた交流に繋がるイベントにしたいと思います。

（２）国内事業委員会

１． 外国語教室活動

① 大人のための外国語教室

ａ．教室活動

潮芦屋交流センターへの移動から3年後の2014年、外国語教室は潮芦屋交流センターの８クラス（英語、英会話 計58名）を南エリア、JR芦屋近辺の大原集会所、市民センター、あしや市民活動センターの５クラス（英語、英会話、スペイン語 計58名）を北エリアとして継続しました。受講生の年齢層の上昇もあってクラスの少人数化傾向が続きます。Stephen先生の月曜午後クラスを増設できたものの、楠先生のクラスの2018年末の閉講は残念でした。英語、英会話以外の講座として児童英語教育研究家 中本幹子先生の絵本朗読クラスを新たに開設しました。

2019年には、新しいACAの北拠点、ラ・モール芦屋203号室に北クラスのほとんどが落ち着きました。

2020年度は、４、5月にコロナ対応のため休講を余儀なくされ、またコロナを懸念する人達の休会、退会による受講者減少はあったものの、英会話、スペイン語の４講師のZoom授業に切り替えての継続と、10月の戸田博子講師：English Reading Salon２クラスの開設により大きな減少を避ける事ができました。その他のクラスは休講も挟みながら、広い教室でアクリル板を仕切りにして何とか凌ぎました。翌2021年度も緊急事態宣言の為の休講はありましたが、6月以降は通常に戻りました。12月末で五十嵐クラス、3月に稲鍵クラスと、長期の２クラスが終了。五十嵐先生は姉妹都市協会時代から最も長く講師を務められました。

この機に新しい展開をと、2022年5月に『ママも楽しむ親子英語クラブ』、6月に短期講座『小学校英語指導者勉強会』、10月に『初級英語』がスタートしました。（2023年度末 クラス数16、受講者数85名）

講師陣より英会話教室担当のStephen Donald先生と英語教室御園生寛子先生を紹介します。

Stephen Donald

Walking through the doors of the Ashiya Cosmopolitan Association for the first time over a decade ago I was unsure what to expect from either staff or students. I needn't have worried. A vibrant, welcoming and friendly community was already a hallmark of the ACA, and I quickly began to appreciate and indeed become a part of it. Since then many new students from all walks of life have come through the same doors and into my classes, and they too have been able to enjoy and become part of the ACA community. For three decades the association has provided not only language classes for local and foreign residents of Ashiya alike, but has offered innumerable opportunities to participate in events, performances, and cultural and cuisine classes featuring the best of Japan and every other country you care to name. I'm happy to have been part of the first thirty years of ACA's story, and I hope that like me you're looking forward to helping this truly cosmopolitan community continue the story into the next thirty years.

御園生 寛子

ACAとのご縁ができまして早や9年となりました。トラベル英語の上達という目的のクラスですが、クラスにはいろいろなお仕事や趣味を持っていらっしゃる方が多く、トラベル英語学習だけではなく自分の知らない分野の知識を分かち合える場となりました。それもまた素晴らしい事であると思います。

毎回、クラスの始まりにウォーミング・アップも兼ねて先週何をしたのか皆さん一人一人に英語で短時間お話し頂いております。「間違いを恐れず英語を話す」という姿勢は語学習得の大事な一歩と思ってこの時間を設けていますが、思わぬ発見や意見交換ができ楽しい時間となっています。

ACAの活動の場において微力ではありますがこうした皆さんの交流のお手伝いができますことを大変嬉しく思っております。

b．コスモポリタンナイト：Let's-Get-Together Party

すべての受講生に英語で交流する機会をと、ネイティブの講師がたのリードでゲームも交え英語でポットラックパーティーを楽しむコスモポリタンナイトが始まりました。ACA会員および一般市民も参加し、講師は参加者全員と言葉を交わしました。2014年にはモ市教師招聘プログラムのシルビア先生のサヨナラパーティーを兼ね開催され、50人以上の会員、市民、関係者が楽しく集いました。

② 子どものための英語教育活動

a. モンテベロ市学生親善使節の小学校訪問

大人のための楽しい英語教室が姉妹都市提携後間もなくより長く継承されてきた一方で、芦屋の子ども達のための英語教育活動は長く手付かずでした。

小学校から英語教育が始まる流れを受け、2009年より、モンテベロからやってくる高校生と芦屋の小学生の交流の機会を作る『モ市学生使節の小学校訪問』プログラムを国際事業委員会の協力を得てはじめました。



夏休み前に学校の全校児童に参加者募集の案内チラシを配布し参加者を募ります。当日は大教室で、二人の学生使節はモンテベロの町や自分達の暮らし、家族、学校生活などを紹介し、子ども達は大きな手作りの福笑いや学校にある独楽やけん玉で日本の遊びを二人に教えます。時には先生と一緒に校内案内をします。

質疑応答やゲームやダンスに英語まじりで興じる内に、皆の笑顔がはち切れます。小学生達が、英語が話せるといいな、と感じてくれると大成功です。

毎年実施の約束で、2013年より訪問校の指定を教育委員会に依頼でき、また、プログラムの構成や実施を引き受けて下さる先生も増えました。

私どもACA側は、モ市学生の自己紹介やモ市についての問答タイムの通訳や補佐作業の充実を、元学生使節やホストアンバサダーと共に計りたく思います。

これまでの経過

2009年　浜風小学校　2010年　浜風小学校　2012年　山手小学校　2013年　潮見小学校
2014年　精道小学校　2015年　宮川小学校　2016年　山手小学校　2017年　岩園小学校
2018年　朝日ケ丘小学校　2019年　潮見小学校　2023年　浜風小学校

b．モンテベロ市小学校教師招聘事業　Teacher Exchange Program（ＴＥＰ）

このプログラムは、2011年の姉妹都市提携50周年のモンテベロ訪問団とACAメンバーの意見交換会の場でハロ会長より案として出たものでした。モンテベロにてハロ会長と稲鍵元会長の間で両サイドの条件を付きあわせた後、実施を決定。モ市側は人選を、本協会は学校やホストファミリー選定を開始、教育委員会や小学校の校長先生方などのご協力で準備を整え、シルビア・ガルシア先生をお迎えしました。紅葉に包まれた芦屋

カンツリークラブでの歓迎ランチでゆったりとお迎えはできたものの、その後の３週間はなかなかハードなものでした。連日、山手小学校と潮見小学校の５、６年生を中心に子ども達の英語指導をし、多くのその他の学校では訪問交流活動を、その間に教師方との打ち合わせの共同作業と、大変力強い活動を繰り広げられました。



週末にはホストファミリーや協会員と観光を、又、コスモポリタンナイトや歓送会は多くの会員や市民との交流の場でした。（資料 P.41）

TEP（Teacher Exchange Program）

Silvia Ann Garcia



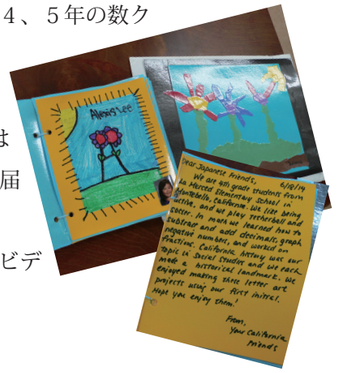
The privilege to teach in Ashiya as the Sister City Ambassador was one of the most memorable experiences of my life. Working alongside the 5th and 6th grade teachers from Shiomi and Yamate Elementary Schools was an incredible learning experience for me. What I observed and learned was that the teachers, school administrators and staff were all dedicated to provide the best educational experience for all students. The hard working ALT's were extremely knowledgeable and dedicated in providing the best for their students and the English Language Program.

The warm welcome and hospitality that I received from ACA and the host families was an enriching example of Japanese culture and most significantly the pride of being from Ashiya. The host families saw to it that I experienced daily life in Ashiya in the most incredible way. I was treated to the most delicious meals prepared in their warm and comfortable homes. I was taken on many amazing excursions in and around Ashiya. What I appreciated was that I was able to experience the beauty of Ashiya in the Fall when the weather was perfect. The scenery of Ashiya and surrounding areas was absolutely incredible. Everyone that I met was verywelcoming and helpful during my short stay in the beautiful city of Ashiya.

There are not enough words to share the gratitude that I have for everyone that made this opportunity available. Your vision for the future of Ashiya is evident by your commitment to providing educational opportunities for the students of this beautiful city. I also share this vision and I hope that the ambassador programs for students and professionals will continue for many years to come. My most heartfelt thanks to ACA for this opportunity to visit Ashiya and to meet with the incredible teachers, students and the lovely people of Ashiya.

ｃ．絵やレターの交換

2011年11月、50周年訪問団との意見交換会で小学生の交流が何かできないかとの提言を受け、その後Mr.Okamura (MASCA元会長) を通じやり取りした結果、2011年春にモンテベロのLME (La Merced Elementary) Schoolから絵やレターを送ってこられ、交流が始まりました。先方の小学校４、５年の数クラスからの絵とレターおよそ150枚を市内の各小学校（山手、宮川、浜風、潮見）へ配布しました。モンテベロ学生使節の手で届けた際には、学校側の絵手紙贈呈の集いで迎えられた事もありました。次の年には80通（20通は山手中学へ）、３年目の2014年にも絵入りレターが届き、精道小学校に届け、その後に市民センターでの小中学生の作品展に展示しました。



先方からは授業の様子、図書館、運動場の写真が、こちらからは音楽会のビデオレターをという交換もありました。

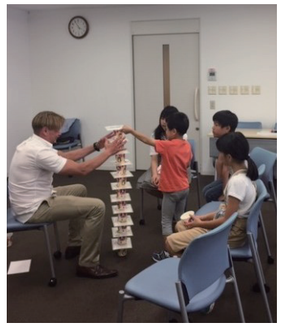
ｄ．イングリッシュ＆テニスくらぶ

５～６歳から小学生を対象とし、「英語とテニス教室がセットになった欲張りなクラブ」というキャッチコピーで2013年5月に開講したイングリッシュ＆テニスくらぶ。運動で脳を活性化させてから学習をすると効率があがるということを実践。コーチにテニスを50分習った後に、部屋に移動してネイティブの先生に英語を50分習うという内容でした。残念ながら他の習い事や卒業などの理由で受講生がゼロとなり2018年6月に休講、その後閉講しました。

受講していた子どもさんが中学校にあがりセンターに顔を出してくれた時に、礼儀正しく「テニス部に入りました。英語の授業は楽しいです。」と誇らしげに話をしてくれました。

ｅ．「マシュー先生と遊ぼう」芦屋市中学生スピーチコンテスト共同開催講座

4年前より開催されている市教育委員会による「中学生英語暗唱・スピーチコンテスト」に、同時開催として新規２企画、ネイティブの先生による４～６年対象の小学生英語クラスと保護者対象の教育講座「辞書を使う勧め」が加わり、９月27日保健福祉センターにて実施されました。小学生英語クラスはACAの英会話講師 Mathew Boyd先生が担当。少人数クラスではありましたが、参加児童はいずれも興味津々な眼差しで先生を見つめ、聞き耳を立て、リピートしたり、ゲームに興じたり、体全体で会得していました。英語が教科としてだけでなく、より身近で便利な伝達手段であることを感じ取り、好奇心と柔らかい頭でどんどん吸収して欲しいと願っての企画でした。



ｆ．小学校英語指導者勉強会

児童英語教育研究家で指導者の中本幹子先生の当協会への入会を機に、芦屋の子ども英語教育のための企画を教育委員会と検討を重ね、教育委員会により教師の為の指導法講座が実施されました。ACAは10回シリーズの講座を2022年6月に月１回日曜日午前中のクラスとして開始しました。中心となって最後まで履修したALTの先生、英語塾や家庭で指導する先生によって、シリーズ終了後も有志の勉強会の形で続いています。

２．作って食べよう世界の料理



1997年のスタート当時は年間５回ほどでしたが、次第に回数も増えました。10年を経た2007年には参加者のご希望もあり、それまでのレシピを一冊にまとめたレシピ本を発刊、その後、2011年の春にACAが2階に調理室の完備した潮芦屋交流センターに移ってからは年間10回の開催となり、講師にレストランのシェフを迎えることや、日本のお正月料理の恒例化、男性の参加などの変化もありました。

姉妹都市提携60周年の記念事業として、25年間180回60カ国のレシピを総括し、市販のレシピ本の作成にレシピ本作成委員会の皆様と挑みました。毎月の料理教室の開催と並行しチーム一丸となって料理の再現、撮影、編集という難コースを完走しました。（資料 P.42）

ACA と『世界の料理』と私

由良 京子

遡ること13年程、音楽仲間でもある中川輝子様から「気軽に美味しいワインと食事を楽しめる会に行かない？」とのお誘いを受け参加したのがACAとのかかわりのスタートでした。　その折、中川ご夫妻から橋谷ご夫妻を紹介され、愉しく乾杯をし、美味しい食事をご一緒したことが、まるで昨日の事のように思い出されます。そんな楽しいワインの会が続いた後に、私は『作って食べよう世界の料理』のリピーターとなっていました。当時の料理スタッフの中には、テニスの先輩でもあった北山靖子様もおられ、何故か実家に戻ったような安心感を覚えました。

2011年の夏にはモンテベロ市への市民訪問団に参加し、人生初の海外ホームステイなど貴重な体験もできました。その後、ACAの最大イベントでもあるワールドフェスタや春のさくらまつりのバザーも体験し、ボランティアのしんどさや楽しさをいっぱい感じながら、気付けば、国内事業委員、料理教室担当となっておりました。

2023年春には1年がかりで皆で作成した料理本が完成しましたが、心から尊敬する橋谷靜子様が急逝してしまわれ、私の心にはぽっかりと穴ができてしまいました。これからの『世界の料理』を否応なしにバトンタッチされてしまった格好でかなり戸惑いましたが、ACA事務局、市の国際交流課、過去の講師経験者方のご協力を得て、力を合わせて続ける事ができ、185回を越えるまでになりました。

最近では初登場の国（カーボベルデなど）も増え、一層国際色豊かになってきています。珍しい食材や味覚に触れながら、食を通じて異文化を身近に感じる新鮮な体験と、楽しく美味しいアットホームな共同作業がこの企画の魅力です。

もうしばらく微力ながら『世界の料理』の継続に力を尽くしたく思います。

３．潮芦屋セミナー

潮芦屋セミナーでは10年程前から次のような講演を行ってきました。



世界的に有名な文学者、歴史学者、劇作家などの作品を題材とした、それぞれの国や時代による人々の考え方、生活様式、文化の紹介を、ときには2回、3回のシリーズとして行いました。 日本の文学者についてのセミナーも行い日本と世界との文化的な視点を比較できるようにしました。対象とした文学者等は次のような方々です：ラフカディオ・ハーン、トマス・ハーディー、オスカー・ワイルド、ゲーテ、ヘルダー、ハイネ、シュトルム、カフカ、パウル・ツエラーン、夏目漱石、井原西鶴、村上春樹、カズオ・イシグロ。講師は夫々の分野の研究家、大学教授などの先生方にお願いしました。

少し違った観点から英語による落語を、桂かい枝、桂福丸の両師匠に、又、能楽の紹介を長山耕三師匠に紹介していただきました。

2、3年前からACAの活動にも変化が見られ、より現実に即した話題やカジュアルなテーマを取り入れていこうという方向に進み次のような講話を実現し好評を得ました。

脳の話：関西ろうさい病院名誉院長の奥譲先生によるNY医療経験談と現在の脳外科の話。脳の外科手術に拘わる生々しい緊迫したお話や、最近恐れられている認知症に関する話など視聴者の方々は真剣に聴いておられました。

パンデミックと文学：14世紀からのヨーロッパ文学に描かれているペスト・パンデミックと現代のコロナ禍に於ける人間性の共通点について森道子・大手前大学文学部名誉教授の話。パンデミックが発生した時、人々は先ず「違う」と否定し、それが現実と分かった段階で権力者は強制隔離手段を取るが様々な逆の効果で悲劇を生むという現代にも通じる「歴史は繰り返す」お話でした。

芦屋・阪神間モダニズムの話：大正時代に起きたモダニズムの色々な文化資産を、三宅正弘・武庫川女子大准教授が紹介されました。



在日カナダ人によるカナダの紹介：身近なようで意外と知らない国「カナダ」。マーク・フィールデン神戸大学講師がユーモアを交えて紹介されました。

今後もより幅広い視点から世界各国の話題をテーマにしたセミナーを行っていきます。（資料 P.47 ）

４．潮芦屋コンサート

国内事業の中で、最も集客を誇れる事業の一つに、コンサートがあります。ＡＣＡ発足当時から数えれば、約150回は開催しています。ACAが潮芦屋交流センターに移動してからは、年に三回、本格的なクラシックか



らポップス、ジャズ、ハワイアン等、幅広いジャンルの音楽を提供し、市民の皆さんを始め、市外からも多くの方々に楽しんで頂いています。潮芦屋に移動して間もない頃、市民の方からのピアノの寄贈があり、そのお披露目に、ピアノ、フルートと詩の朗読を開催した時には、これまでで最も多い約170名の参加者で大変盛り上がりました。

その後、20代30代の若い人達による管楽器の演奏、50人編成のリコーダーやバイオリンソロ、ピアノとハープ、カウンターテナーのソロ、リコーダーとチェロ、又、芦屋市民文化賞に輝く音楽芸術財団（アルカディア）の演奏、横浜在住グループからアプローチを受けた南米楽器アルパの演奏、そして夏は恒例のハワイアンバンドとフラダンスの夕べ、冬はクリスマスジャズコンサート等、数々のコンサートを開催しました。コロナが収束してからも、常に130名前後の聴衆に支えられ、演奏者にも満足していただいています。（資料 P.49 ）

５．俳句教室



世界中の文学には、必ずといって良いほど「詩」という分野があります。詩はそれぞれの土地の自然や風土、習慣などが凝縮した形で表現されています。日本で言えば万葉集の時代から様々な詩文があり、色々な曲折がありますが、短歌や俳句が伝統的な詩として現代も幅広く親しまれています。特に俳句は季語が必ず必要な定型詩で、わずか17音の世界最小の詩です。誰でも作れるものですが、季節感を大事にして、この世界を描こうとしています。この特性を生かしてHAIKUとして諸外国でも楽しむ方がおられますし、外国の学校でも教材として利用されています。また、外国の方々に日本を紹介するにあたって、日本のことをまず理解しておくことが必要ですが、その意味でも俳句を学ぶことは有益なツールになります。

以上のようなことから、2021年より俳句の教室が始まりました。月に一回の教室ですが、毎回楽しく学んでいます。段々と高齢化が進んでいますが、体調を崩されてもＦＡＸや郵便で俳句を送って来られます。そうした方の俳句も含めて、それぞれの俳句を鑑賞しあい、結果は句会報として全員に配付されます。とにかく鉛筆と手帳があれば、病床からでも参加できるのが俳句の良い所です。

交通の便利な北教室で教室を開いています。

（３） 外国人支援委員会

１．日本語教室

潮芦屋の教室

日本語教室は、月曜や木曜の午後クラスの増減がありましたが、月曜午前・午後、火曜夜、木曜午前、土曜午前の5教室に落ち着きました。マンツーマンレッスンなので、イレギュラーな時間帯でも学習者の希望に沿うよう対応しています。こども教室は、2015年に金曜日午後から土曜日午前に日時を変更しました。



学習者の登録数は2017年にはインバウンドの影響を受けて登録者99名となりました。2018年は、市外在住者の新規登録を受け付けなかったので77名になります。コロナ禍で減少傾向となり、最近は40名ほどで推移しています。

北教室

2015年4月に、週1回火曜日午前に行っている教室の会場を西本建設貸室から、リード芦屋へ移転しました。さらに2019年4月にラ・モール芦屋へ移転し、同年9月より火曜日午前と金曜日午後の2クラスとなりました。



コロナ禍で

2020年2月17日の春の文化祭後、2月29日～5月31日、感染予防のため教室は休止になりました。2021年4月25日～5月12日にも緊急事態宣言で潮芦屋交流センター閉館に伴い休止となりましたが、5月17日から教室を再開しました。

この間、ボランティアはオンラインでのレッスン継続を試み、Zoomの技術が必要なことから、自主的な勉強会につながりました。

潮芦屋と北教室で学ぶ学習者は、会社員、大学院生、主婦などさまざまです。学習者の出身国は、中国やタイ、フィリピン、イラン、インドなどアジアが多いですが、アメリカやイギリスなどの欧米、コスタリカ、ブラジル、チリなどの中南米、そしてナイジェリアなどアフリカ大陸出身の学習者もいます。ボランティアは、日常会話を中心に、ビジネス現場での表現や日本語能力試験対策など学習者の希望に沿うよう各人工夫を凝らしています。ニーズにあった教え方の向上のためのブラッシュアップ講習会へとつながりました。

２．日本語ボランティア養成講座

2014年から2023年にかけて、兵庫県国際交流協会から講師を紹介していただき、4回開講しました。2014年斎藤先生、2016年五味先生、2018年元村先生による各7回・14時間の日本語ボランティア養成講座を潮芦屋で行いました。

コロナ禍で延期が続いた後の2021年初夏、福井先生、矢谷先生による講座は、潮芦屋センターがワクチンの接種会場となり使用できなかったため、市民センターで開講しました。待ち望んでいた熱心なボランティア希望者は、「やさしい日本語」も含めて有意義な講義を受けました。（資料 P.53）

３．ブラッシュアップ講座、やさしい日本語講座、自主的な勉強会



兵庫県国際交流協会（HIA）からの講師によるブラッシュアップ研修会を開催しました。

ひょうご国際交流団体連絡協議会「やさしい日本語普及講師派遣事業」によって2018年から2023年にかけて、9回やさしい日本語研修会を開催しました。

ACAの日本語ボランティアが、やさしい日本語や、お互いの取り組みを話し合う自主的な勉強会も開催しました。

（資料 P.53・P.54）

４．外国人のための文化教室



日本の文化を知ってもらうために、華道（草月流、未生流）、茶道（裏千家）、書道の各教室をそれぞれ月一回金曜日の午後に開講しています。

茶道教室は、1月には着物を着て生田神社での初釜を体験したり、ワールドフェスタでお茶席を設けたり、活動の場を広げています。

芦屋市内の日本語学校の生徒（ベトナム、ネパール、台湾）が、茶道体験や華道体験をしたこともあり、日本文化に触れることができたと好評でした。

書道教室も書初めやカレンダー作りなど、先生の工夫で楽しく教室を続けています。（資料 P.52）

５．神戸大学海事科学研究科、海技大学校への出張講義

神戸大学大学院でのブラッシュアップ日本語は、2016年よりマンツーマン授業を取り入れ好評を得ています。

2020年にはコロナ禍で1回中止になりましたが、その後オンラインで授業を行うなど再開しました。

2020年11月から12月にかけての授業風景は、マスクを着けて感染対策をしながら、日本語を学ぼう、教えようという熱気に寒さを忘れたと、かわらばんの記事にあります。

神大大学院生が、文化祭でのスピーチに参加したり、遠足に参加することもあり、交流がさらに深まりました。

海技大学校の日本事情講座は2015年まで行いました。（資料 P.55）

６．防災教室



2021年日本語教室の学習者・ボランティアで「人と防災未来センター」を訪問して、日本の災害や防災について学習しました。

また、「文化祭」で３回防災教室を開きました。この教室では西宮市国際交流協会や、NPO法人国際ボランティア学生協会 (IVUSA)の協力を受けて、わかりやすい防災知識を学ぶことができました。また、芦屋警察の方にも防災の話をしていただいたことがあります。

参加者から、「芦屋市の一外国人住民として、災害時の外国人への積極的な支援を共に学んで、地域社会に溶け込むチャンスを得たような気がする」との声がありました。

７．文化祭

日本語学習者による日本語スピーチと日本文化に親しむ機会として文化祭を年1回行っています。スピーチとともに、ひな祭りや七夕などの行事を開催しました。（資料 P.56）

これらの催しを通して、日本語教室の学習者は、ボランティアとともに日本の年中行事や文化を楽しむことができます。

学習者がかわらばんに書いた記事を紹介します。



「7月8日（土）、日本語教室『夏まつり』に参加する機会がありました。センターでは、ゆかたを着用することができ、とても嬉しかったです。また、ゆかたを着て伝統的なコスタリカの歌を歌うのは経験したことがなかったので、とても面白かったです。他にも、ダンスや、うちわに筆を使って絵を描いたり、日本の食べ物を食べたりと日本の伝統に触れ、ゲームに参加することもできました！今年が初めての日本の夏の生活ですが、このようなイベントが初めての日本の夏を楽しくしています。」（2017年秋号より）

文化祭では、学習者が日頃の日本語学習の成果を、様々な魅力あふれるスピーチによって披露しています。

学習者がかわらばんに書いた記事を紹介します。

「私は一年半日本にいます。今年の春の文化祭でスピーチをするようにすすめられました。私は自分の夢をみなさんに話したり、ギターをひいてベトナムの歌を歌ったりしました。日本で自分の国の歌をほかの国の人たちに聞いてもらうのは、おもしろいけいけんでした。私のパフォーマンスが終わると、はくしゅをしてくれました。私はそれをとてもうれしく思いました。イベントで、私は他の国の人のスピーチを聞くこともできました。かれらはインド、インドネシア、スペイン、中国などいろいろな国から来たひとたちですが、みなさんはいろいろなりゆうで日本へ来ました。かれらは日本の生活や、母国と日本の似ていることと違うことについて

話しました。かれらはみんな、それなりに日本がめっちゃ好きですね！私もですよ！それはすてきなことですね！！」（2019年春号より）

８．バス旅行（施設見学）

走る県民教室、HIA民間国際交流事業助成金、ユネスコ基金を活用して、バス旅行を行いました。奈良、京都、淡路島などの観光地を訪れたほか、温泉、乗馬、座禅、陶芸、野菜の収穫など様々な体験をしました。（資料 P.56）

これらの課外活動は、ボランティア同士、学習者同士も交流が深まる良い機会となりました。
学習者はバス旅行の感想として、次のようにかわらばんに書いています。

「バス旅行のおかげで芦屋市に住んでいるたくさんの外国人に出会いました。たぶん日本語教室や文化教室で会ったことがありますが、喋る機会がほとんどありませんでした。今回皆さんとゆっくり喋って本当に良かったです。」

「様々な人に出会えるのみならず、日本文化に深く触れられるチャンスだと思いました。」



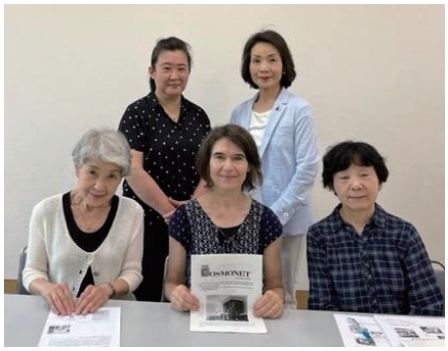
９．外国人のための情報紙

「コスモジャーナル」は2019年10月の第1号から2024年2月の第27号まで2カ月に1回発行してきた情報紙です。広報あしやの2カ月分の内容から、芦屋で暮らす外国人の方に必要な情報を選び、ボランティアがやさしい日本語とやさしい英語にしてきました。紙媒体では、潮芦屋交流センターや市役所やラポルテ市民サービスコーナーなどに置き、インターネットでも配信してきました。

2024年度からは、さらに在住外国人に寄り添った内容で「やさしい日本語」の情報紙として生まれ変わる予定です。

また2019年から「広報あしや」掲載の防災のお知らせを「やさしい日本語」にしてホームページに載せています。

“THE COSMONET” は「広報あしや」から記事を選び英訳して芦屋市在住外国人の方に役立つ情報としてお伝えしようと、1997年7月に始まった英語ボランティア手作りの月刊英語情報紙です。英訳する記事は教育や健康・福祉など市民の生活上の一般情報や、音楽会・美術展・映画・各種教室等のイベント案内など幅広いジャンルにわたります。



25年にわたる活動が評価され、兵庫県国際交流団体連絡協議会の「草の根国際功労賞」を、グループを代表して村井さんと杉山さんが受賞しました。

残念ながら2023年度末で“THE COSMONET”は320号を最後に27年という長い活動に幕を閉じることになりました。これまで活動を支えて下さった様々な方々、読者の方々にお礼申し上げます。（資料 P.57）

追　憶　　感謝を込めて



故　橋谷靜子元会長・館長を偲んで

会長　　戸田　敬二

故 橋谷靜子様は副会長、会長、館長として20年近くに渡りＡＣＡをご指導下さり、多くのご貢献、ご功績を残して下さいました。そのご功績の一部をご紹介いたします。

橋谷様が会長になられた2011年にACAは潮芦屋交流センターの指定管理を芦屋市から受けて国際交流協会としては数少ない完全民営化を実現しました。

会長になられてACAの全事業委員会で取り組める事業として「ワールドフェスタ」を始めてくださいました。このイベントは今や1,000名近くがご参加頂けるビッグイベントになりました。2014年から始められ既に６カ国に及ぶ大使や総領事をお招きしてのイベントはその国の文化に直接触れる機会と高く評価されています。

26年前に始めて、また続けていただいた「作って食べよう世界の料理」は単なる料理教室ではなく、試食をしながら講師の方からその国の料理の話、文化などをお話いただき料理を通して世界を知る講座です。潮芦屋交流センターのキッチンの隣に試食室が作られたのも橋谷様のご尽力の賜物です。

60周年記念事業として初の市販本「作って食べよう世界の料理」を発売できましたのは、橋谷様なしでは成し得なかったことです。

多大なご貢献に感謝し、心より橋谷靜子様のご冥福をお祈り申し上げます。

橋谷様への感謝の言葉

館長代行　笠木　貴美子

60周年記念事業としてレシピ本を出版することが決まった時、誰よりも喜ばれたのは橋谷様でした。25年間の膨大なレシピの中から40カ国のレシピを厳選し、再現して撮影する作業は想像以上に大変なものでしたが、責任感が人一倍強い橋谷様は、「読者の方に美味しい世界の料理を作ってもらえるように」と全力で取り組まれました。



橋谷様の情熱と熱意に勇気づけられ、私たちは最後まで一つのチームとなり、目標を達成することができました。その完成した本を手に取ることなく旅立たれたことは本当に残念でなりません。出版記念祝賀会で一緒に苦労話などをして、お祝いをしたかったです。

橋谷様は年齢を感じさせないほど若々しく、常に会話の中心におられ、何か相談事があるときには、いつでも適切なアドバイスをくださり、本当に頼りになる存在でした。

本当にお世話になりました。心から感謝申し上げます。

微力ながら、橋谷様の志を引き継いで、ACAの発展に力を尽くしていきたいと思います。

橋谷靜子様を偲んで

理事　髙雄　芳子

靜子様が力を注いでこられました事業の一つに“世界の料理教室”があります。2011年に新設されました潮芦屋交流センターに調理室と試食室を設けるにあたっては、心血を注いで最新備品をご用意下さいました。お陰様で教室は大評判となり、昨年レシピ集“作って食べよう世界の料理”が出版されました。靜子様に完成本をご覧いただけなかったのが、とても残念で悔しい思いです。

色々の所にご一緒いたしましたが、彼女の頭の中にはいつもの“世界の料理教室”のことがあり、「あの国の料理はどうかしら？」「あのコックさん、どうかしら？」と口にされておりました。

きっとACAのすべての事業に心を込めて関わられた事でしょう。私は『いつもACAの事を考えている凄い人』と感心をしておりました。 靜子様、本当にありがとうございました。

両市の架け橋 Yae Aiharaさん

理事、元学生親善使節　稲鍵　亜早子（津紀子）



姉妹都市提携後、間もない頃より両市の交流を陰で支え続けて来られた相原八重さんが、2023年２月11日、ご自宅にて静かに97年のご生涯を終えられました。息を引き取られる前に、傍のご家族に、“Thank you. I had a good life.” とお別れを告げられたとの事です。

モ市姉妹都市協会（MASCA）の会長、会計、Historianなどを歴任され、モ市のホストファミリーをサポートするAihara基金を設立されています。変わらぬ熱意と優しさで、代々の芦屋の会長方、会員方とも親交を深められ、ビンゴゲーム、ローズガーデンのサポート、大震災直後の慰問とご後見は数限りなく、協会からの感謝状だけでなく、芦屋市民文化賞など多くのご受賞となりました。

モ市からの学生使節には芦屋で困らぬよう心構えのオリエンテーションを、芦屋からの学生使節には浴衣の着付けなど細やかな気遣いを続けられ、両市の学生達皆を母親ように守って下さいました。

日系人博物館の会員歴は長く、National「全米」のものと認められた時にはお喜びでした。戦時中の日系人キャンプ体験者としては、八重さんが最後のボランティアガイドで二カ国語で対応されました。4月３日に全米日系人博物館でMemorial Serviceが執り行われ、壇上にはACA会長と元芦屋学生使節有志からとの二つの大きな花輪が飾られました。沢山の懐かしい八重さんの映像と“Unforgettable”のボーカルが流れ、250人近い出席者が涙と笑顔で八重さんを偲びました。式典後には、お孫さんのレストランのランチが出席者に振舞われました。お料理と14、5人のお孫さんとスタッフの待つ別室に向かい、お皿を持って一巡りするとご馳走が大盛りになるという、最後まで八重さんらしいおもてなしでした。







20周年から30周年を振り返って

前会長　戸田　祐一

かつて20周年誌を編集した時、私は副会長を務めており、編集委員長をさせていただきました。それから早や10年がたち、30周年誌に回想を書かせていただくことになり、感慨無量です。本当におめでとうございます。

20周年誌を発行した翌年には会長を仰せつかりました。会長在任中の事を思い返しますと、モンテベロ市との姉妹都市55周年に当たり、市民訪問団を募ってモ市を訪問したこと、その半年後にはモ市から市民訪問団が芦屋市に来られて交流を深めたことなど、楽しい思い出が沢山あります。その一方、いろいろ苦労したことも沢山あります。ACAは2011年4月に潮芦屋交流センターの指定管理者になりましたが、NPO法人の資格を取ったのは、その直前の3月でした。ということで、副会長をさせていただいていた時期は、まだ手探りで仕事を始めていたという段階でした。この契約は3年間で、2014年に契約更新が行われることは決まっており、それまでに組織、運営体制を整えて、更新の審査に備える必要があり、様々な課題が山積していました。幸い会員の皆様のご協力を得て無事、契約更新が行われ、2014年から第二期の指定管理が始まりました。この契約期間は5年間なので、まずはホッとしたことを覚えています。

もう一つは、認定NPO法人の資格の取得があります。稲鍵元会長の時代から、認定NPOの資格を取りたいものだという話はあったのですが、指定管理を受けたばかりで、とても手が回りませんでした。幸いにも兵庫県から認定NPOを取る気はないかというお話を頂き、山田眞治副会長のご専門の知識を生かしたご協力が得られ、これをチャンスと取り組むことにしました。認定NPOの認証を受けることは、税制優遇が受けられるといった、金銭面でのメリットもありますが、それ以上に第三者にACAは文句のない立派な団体だという客観的な評価を頂くことが目標でした。このことは多くの方にACAに加わっていただくため、信用を高めると同時に、間接的には今後の潮芦屋交流センターの指定管理の更新を頂くにあたっても、良い効果があると思ったからです。

2017年6月、会長を退任させていただき、その後は潮芦屋交流センターの館長やACA監事をさせていただきましたが、段々と実務からは離れていきました。所が思いがけなく、日本文化を学ぶ一環として、俳句教室を開講することとなり、2022年よりその講師として、月に1回教室を開いてます。

最後にどうしても申し上げたいことは、私の前任の会長である故橋谷靜子様のことです。私がACAに入会して、ボランティア組織の運営について全く素人であった時に、私を副会長に任命して、いろいろ直接ご指導を頂きました。夜遅くまで電話でご相談をしたり、メールのやり取りをした日々の事を感謝を持って思い返しています。会長を退任された後も、引き続き様々な局面でACAの発展にご尽力下さいました。2023年4月に急逝されましたが、もしお元気であれば、共に30周年を喜び合えたのにと残念でなりません。ご冥福を祈りつつ、拙い回想文といたします。



前副会長　髙橋　洋一

2010年にリタイアした後、社会活動に何かお役に立てればとの想いから芦屋市国際協会に加わりました。

まず国内事業委員会では、種々の講演のお手伝いから始まりました。2013年三木谷浩史さんの講演では全国から意のある若者がルナホールを埋め尽くし熱い質疑が飛び交ったこと、和田克司先生の“正岡子規”の講演の前に虚子館を訪れ、稲畑汀子先生の笑顔の接したこと、“かい枝”に始まり“福丸”に受け継がれた“英語落語”も今や定着し、子供も楽しみに来るようになっています。その他小柴さん、笠木さんの司会による各種講座も質が高かった。

音楽では、田中隆子さん司会の夏のハワイアン、冬のXmasコンサートに癒されました。春の“さくらまつり”では、橋谷さんのお誘いで“深川製磁の壺”“浜田庄司風の皿”を買ったことも懐かしいです。

国際事業委員会では、2014年、井上前委員長、戸田敬二会長との“Kの誓い”を契機にその活動を盛り返したこと。その誓いとは、3人で遊びに行ったクアラルンプール帰りの空港の待ち時間に“HF、HAの重視を徹底すること”を約束したことです。その後の元SA奥田君、山﨑君の活躍も大きく、大石さんのサポートも見事でした。

恒例の“ドラゴンボートレース”は、いつも暑さとの闘いでした。2017年、教育長率いるチームを破りベスト4まで勝ち進み、“サイゼリア”で美酒に酔ったこともありました。全日程を終え行われる反省会は、いつも青山さんの“ブルーマウス”でVを見ながら盛り上がりました。また、SAたちと長山耕三師のお能や井上さんらと聞香、上七軒などの京文化に触れることができました。

この他、市民との交流をもっと活発にと、2015年はシルビアさんを招き、市内4小学校（山手、精道、潮見、打出浜）と交流しました。生の英語授業に目をキラキラさせていた子供たちが印象的でした。芦屋学園では、高校生と予め与えた課題で討論も行いました。

この頃は先方の小学生たちとレター交換を行い夏休み明けの市民展で披露していました。また、ハロさんが理事長をされているビバリー病院からローラ・ベリーさんをお招きし、芦屋病院で“USAの看護事情”等をレクチャーいただき、こちらから矢ケ部さんがナースプログラムの実習に行かれました。

2018年ルクセンブルクから元デ杯選手団が来芦の折、芦屋国際ローンテニスクラブでの交歓会に出席できたのも嬉しいことでした。

2016年55周年記念事業として、モンテベロ市を訪問：歓迎パーティでは、山中市長の手品、多田京子さんのお琴の演奏、さらに先方の市長さんのドラムも加わったバンドに乗ってシルビアさんと踊ったジルバもよき想い出です。ゼペタ邸でのガーデンパーティではカウボーイハットをかぶり馬に乗ったこと、ラストは屋根にまたがって吊るされた大キャンデイバッグをたたき落とすゲームで敬二さんが見事に成功し、拍手喝采。

相原八重さん案内の全米日系人博物館では歴史に触れることができて有意義でした。食は、ロスのロブスターに始まり、ベガスのステーキで終え、カリフォルニアワインも満喫しました。

この10年とくに忘れ難きは、前会長の橋谷さんの暖かいお人柄と細やかな折衝力でした。毎月の常任理事会後のアフターランチの語らいも楽しかったです。

また、2018年ＮＰＯ法人の認定取得など手腕を振るわれた現戸田敬二会長の存在は大きく、芦屋市国際協会の今後のさらなる発展を望んで止みません。

回　想



転換の年２０１８年

前事務局長　河井　俊彦

2018年度は、芦屋市国際交流協会（以下略ACA）にとって、ACA設立から25年、NPO法人取得から10年経った節目の年だった。というのも、

① 認定NPO法人化（NPO法人からの格上げ）

② 潮芦屋交流センターの公募指定管理の獲得

③ 法人としての独自オフィス（主たる事務所）の設置

この３つの大きなテーマが、この１年に集中したのだ。

それは１本の県庁からの電話から始まった。県庁の担当部署から「ACAは社会的に適正・適切なＮＰＯ団体であると推察されるので、【認定NPO法人】に格上げを検討しては？」と…。 早速戸田祐一会長に相談したところ、即取得へのGOサイン点灯となった。 蓋を開けてみると、2016年度から3年越しで財務収支を整理した上、組織の定款、規約に即した運営等々の関係資料を取纏めし、３年後に県庁に申請、そして審査、立会を受験し法人格を取得するという長丁場に渡るものである。

その主旨は、

① 多くの市民に支えられ、

② 運営組織・事業活動が適切であり、

③自ら情報を広く公開している社会的信頼性のある団体である、と県知事のお墨付きをもらう名誉あるものだ。NPO法人は数多いが、認定を持つNPO法人は市内でも1団体しかなく県内も数は非常に少ない。

取得にかかる大日程を検討したところ、「なんと、市の潮芦屋交流センターの指定管理（公募）の審査及び議会承認に係る一連の作業と完全にオーバーラップしてしまう日程ではないか！」2018年度は関係理事及び事務局は事務処理量の増大で忙殺されること必至。しかも３年越しで県と市の両方にACAの活動の源泉そして存在価値のためのアクションを興すことが必要になる。

更に、その二つを獲得するプロセス上で、新たな課題が勃発！「主たる事務所」の登録が必要になったのだ。過去便宜上、会長の自宅が登記されていたが、交流センターは指定管理上の執務場所であり、法人としての主たる事務所になり得ない。ACAの将来も考え、登記上独自のオフィスの確保が必要との戸田敬二会長の判断で、早速物件をサーベイ。タイミングよく市の放出物件として駅前ビル ラ・モール芦屋の一室の入札案件があり、理事会承認の下これに狙いを定めた。数社の応札の結果、市内不動産業者を僅差でかわして落札することに成功！入札額は戸田会長とともに随分頭を悩ましたが、落札時には大人気なく二人で小躍りしたことは記憶に新しい。

かくして2018年度は「県の認定NPO法人格取得」「市の交流センターの指定管理獲得」「独自のオフィス取得」の三本の矢立で、てんやわんやの年になったが、法人設立から1/4世紀を経たこの年度は【ACAの転換の年】になったのではなかろうか？ あれから５年たった今、ラ・モールの「主たる事務所」を拠点に、県の認定NPO更新、市の指定管理を継続されていると聞く。この大一番を乗り切ったことをきっかけに、設立30年【而立の年】を迎え、さらに40年【不惑の年】に至るまで、潮芦屋（交流）センターと国際（交流）協会の共通項である【交流】を基軸に理事・事務局並びに会員各位の協力体制の下で、県・市並びに各種団体と交流の場を広める礎になってもらいたいと祈念する。

資　料　編

役　員

年度/役職	2014	2015	2016	2017	2018
会長	橋谷　靜子	戸田　祐一	戸田　祐一	戸田　敬二	戸田　敬二
副会長	小柴　明子 戸田　祐一	植田多江子 山田　眞治	植田多江子 山田　眞治	髙橋　洋一 田中　隆子 笠木貴美子	髙橋　洋一 田中　隆子 笠木貴美子
特命担当理事	宮本　陽子（会計）	戸田　敬二（会計）	戸田　敬二（会計）	橋谷　靜子	橋谷　靜子
理事	安生　直美 池内　洋子 稲鍵亜早子 井上　哲夫 植田多江子 京極　正典 京田　弘幸 小林紀代子 靜　敬太郎 髙雄　芳子 髙木　志保 髙橋　洋一 田中　隆子 戸田　敬二 寅巴里ハッサン 中川　善博 廣瀬　忠子 向　俊治 麦谷のり子 村上　晋 中島　大樹	橋谷靜子(館長) 稲鍵亜早子 井上　哲夫 笠木貴美子 北山　靖子 小柴　明子 小林紀代子 靜　敬太郎 園田　妙子 髙雄　芳子 髙橋　洋一 田中　隆子 谷村　洋人 中川　善博 中島　大樹 麦谷のり子 赤崎　晴久	橋谷靜子(館長) 稲鍵亜早子 井上　哲夫 笠木貴美子 北山　靖子 小柴　明子 小林紀代子 靜　敬太郎 園田　妙子 髙雄　芳子 髙橋　洋一 田中　隆子 谷村　洋人 中川　善博 中島　大樹 麦谷のり子 河井　俊彦	戸田祐一(館長) 青山　暁 稲鍵亜早子 井上　哲夫 植田多江子 菊田　恵子 北山　靖子 小柴　明子 靜　敬太郎 園田　妙子 髙雄　芳子 中川　義博 宮本　陽子 河井　俊彦	戸田祐一(館長) 青山　暁 稲鍵亜早子 井上　哲夫 植田多江子 菊田　恵子 北山　靖子 小柴　明子 靜　敬太郎 園田　妙子 髙雄　芳子 田中　明 中川　義博 宮本　陽子 河井　俊彦
監事	山田　眞治	宮本　陽子	宮本　陽子	山田　眞治	山田　眞治
顧問	無し	稲鍵　雄康 京極　正典	稲鍵　雄康 京極　正典	稲鍵　雄康 京極　正典	稲鍵　雄康 京極　正典

役員名簿

年度/役職	2019	2020	2021	2022	2023
会長	戸田　敬二	戸田　敬二	戸田　敬二	戸田　敬二	戸田　敬二
副会長	髙橋　洋一 田中　明 田中　隆子	髙橋　洋一 田中　明 田中　隆子	笠木貴美子 田中　明	笠木貴美子 田中　明	小柴　明子 田中　明
特命担当理事	無し	無し	髙橋　洋一	髙橋　洋一	髙橋　洋一 番留　均
理事	橋谷靜子(館長) 稲鍵亜早子 井上　哲夫 植田多江子 笠木貴美子 菊田　恵子 北山　靖子 小柴　明子 靜　敬太郎 園田　妙子 髙雄　芳子 中川　善博 宮本　陽子 山田　眞治 青木　和子	橋谷靜子(館長) 稲鍵亜早子 井上　哲夫 植田多江子 笠木貴美子 菊田　恵子 北山　靖子 小柴　明子 靜　敬太郎 髙雄　芳子 中川　善博 宮本　陽子 山田　眞治 青木　和子	橋谷靜子(館長) 稲鍵亜早子 植田多江子 菊田　恵子 北山　靖子 小柴　明子 佐治　義人 靜　敬太郎 鈴永　貴子 髙雄　芳子 田中　隆子 中本　登美子 番留　均 宮本　陽子 山隈　直人 由良　京子 青木　和子	橋谷靜子(館長) 稲鍵亜早子 植田多江子 菊田　恵子 北山　靖子 小柴　明子 佐治　義人 靜　敬太郎 鈴永　貴子 髙雄　芳子 田中　隆子 中本　登美子 番留　均 宮本　陽子 山隈　直人 由良　京子 青木　和子	宮本陽子(館長) 笠木貴美子(館長代行) 稲鍵亜早子 植田多江子 菊田　恵子 北山　靖子 佐治　義人 靜　敬太郎 鈴永　貴子 髙雄　芳子 田中　隆子 中本　登美子 山隈　直人 由良　京子 青木　和子
監事	戸田　祐一 宮内　裕通	宮内　裕通	宮内　裕通 中川　善博	宮内　裕通 中川　善博	宮内　裕通 中川　善博
顧問	稲鍵　雄康 京極　正典	稲鍵　雄康 京極　正典 戸田　祐一	稲鍵　雄康 戸田　祐一	稲鍵　雄康 戸田　祐一	稲鍵　雄康 戸田　祐一

国際事業委員会

役職/年度	2014	2015	2016	2017	2018
委員長	戸田　敬二	髙橋　洋一	髙橋　洋一	青山　暁	青山　暁
副委員長	髙橋　洋一 松尾　治	戸田　敬二 青山　睦子	戸田　敬二	井上　哲夫 奥田　瑞枝	奥田　瑞枝
委員	青山　暁 青山　睦子 五十嵐　政二 井上　哲夫 住本　祐一 曽　ひろ美 髙雄　芳子 宮本　陽子 山田　眞治	青山　暁 五十嵐　政二 井上　哲夫 奥田　瑞枝 住本　祐一 曽　ひろ美 髙雄　芳子 平野　真弓 松尾　治 宮本　陽子 矢野　雅美 山﨑　美保 山田　眞治	青山　暁 青山　睦子 井上　哲夫 奥田　瑞枝 加輪上　有里 昆　真由美 佐治　昭子 髙雄　芳子 平野　真弓 福岡　奈緒 松尾　治 宮本　陽子 矢野　雅美 山﨑　直 山﨑　美保 山田　眞治	青山　睦子 奥田　考祥 佐治　昭子 髙雄　芳子 髙橋　洋一 田中　明 花嶋　ゆかり 平野　真弓 松尾　治 宮本　陽子 矢野　雅美 山隈　千代子 山﨑　直 山﨑　美保	青山　睦子 井上　哲夫 奥田　考祥 佐治　昭子 髙雄　芳子 髙橋　洋一 田中　明 花嶋　ゆかり 正木　亮子 松尾　治 宮本　陽子 八木　ひとみ 山隈　千代子 山﨑　直 山﨑　美保
学生委員	奥田　考祥 矢野　満里絵	平野　菜翼 山﨑　直	加輪上　創介 昆　れい奈	佐治　百合恵 山﨑　真奈	花嶋　咲良 山隈恵理子

国際事業委員会

役職/年度	2019	2020	2021	2022	2023
委員長	田中　明	田中　明	番留　均	番留　均	番留　均
副委員長	奥田　瑞枝	奥田　瑞枝	奥田　瑞枝 佐治　昭子	奥田　瑞枝 佐治　昭子	青山　睦子
委員	青山　暁 青山　睦子 井上　哲夫 岡﨑　朋枝 奥田　考祥 加輪上　有里 佐治　昭子 髙雄　芳子 髙橋　洋一 谷口　冨美代 玉田　加奈子 花嶋　ゆかり 正木　亮子 松尾　治 宮本　陽子 八木　ひとみ 山隈　千代子 山﨑　直 山﨑　美保	青山　暁 青山　睦子 奥田　考祥 奥田　瑞枝 岡﨑　朋枝 加輪上　有里 佐治　昭子 髙雄　芳子 髙橋　洋一 谷口　冨美代 玉田　加奈子 花嶋　ゆかり 番留　均 正木　亮子 松尾　治 宮本　陽子 山隈　千代子 八木　ひとみ 山﨑　直 山﨑　美保	青山　暁 岡﨑　朋枝 奥田　考祥 奥田　瑞枝 加輪上　有里 佐治　昭子 髙橋　洋一 髙雄　芳子 田中　明 玉田　加奈子 花嶋　ゆかり 松尾　治 宮本　陽子 八木　ひとみ 山隈　千代子 山﨑　直 山﨑　美保	青山　暁 浅海　洋一郎 岡﨑　朋枝 奥田　考祥 佐治　昭子 髙雄　芳子 田中　明 谷口　冨美代 玉田　加奈子 花嶋　ゆかり 松尾　治 宮本　陽子 八木　ひとみ 山隈　千代子 山﨑　直 山﨑　美保	青山　暁 浅海　洋一郎 岡﨑　朋枝 奥田　考祥 加輪上　有里 佐治　昭子 髙雄　芳子 田中　明 谷口　冨美代 玉田　加奈子 坪田　綾子 花嶋　ゆかり 松尾　治 宮本　陽子 八木　ひとみ 山隈　千代子 山﨑　直
学生委員	正木　志果 八木　新之助	岡﨑　鱗太郎 玉田　紗和	–	–	–

国内事業委員会

役職/年度	2014	2015	2016	2017	2018
委員長	中川　善博	中川　善博	中川　善博	中川　善博	中川　善博
副委員長	北山　靖子 田中　隆子	北山　靖子 田中　隆子	北山　靖子 田中　隆子	北山　靖子 田中　隆子	北山　靖子 田中　隆子
委員	五十嵐 かほる 稲鍵　亜早子 笠木　貴美子 靜　敬太郎 髙橋　洋一 寅巴里　ﾊｯｻﾝ 鳥居　祐岐子 中川　輝子 ﾅﾘﾆ・ﾄｼﾆﾜﾙ 増谷　章子 由良　京子	五十嵐 かほる 稲鍵　亜早子 笠木　貴美子 靜　敬太郎 髙橋　洋一 寅巴里　ﾊｯｻﾝ 鳥居　祐岐子 中川　輝子 ﾅﾘﾆ・ﾄｼﾆﾜﾙ 増谷　章子 由良　京子	五十嵐 かほる 稲鍵　亜早子 笠木　貴美子 小柴　明子 靜　敬太郎 寅巴里　ﾊｯｻﾝ 鳥居　祐岐子 中川　輝子 ﾅﾘﾆ・ﾄｼﾆﾜﾙ 増谷　章子 持田　美恵子 由良　京子	五十嵐 かほる 稲鍵　亜早子 笠木　貴美子 小柴　明子 靜　敬太郎 寅巴里　ﾊｯｻﾝ 鳥居　祐岐子 中川　輝子 成田　夫光子 ﾅﾘﾆ・ﾄｼﾆﾜﾙ 持田　美恵子 薮田　恵津子 由良　京子	五十嵐 かほる 稲鍵　亜早子 笠木　貴美子 小柴　明子 靜　敬太郎 寅巴里　ﾊｯｻﾝ 鳥居　祐岐子 中川　輝子 成田　夫光子 ﾅﾘﾆ・ﾄｼﾆﾜﾙ 持田　美恵子 薮田　恵津子 由良　京子

役職/年度	2019	2020	2021	2022	2023
委員長	中川　善博	中川　善博	中川　善博	田中　隆子	田中　隆子
副委員長	北山　靖子 田中　隆子	北山　靖子 田中　隆子	北山　靖子 田中　隆子	北山　靖子 由良　京子	北山　靖子 由良　京子
委員	五十嵐 かほる 稲鍵　亜早子 笠木　貴美子 小柴　明子 靜　敬太郎 寅巴里　ﾊｯｻﾝ 鳥居　祐岐子 中川　輝子 成田　夫光子 ﾅﾘﾆ・ﾄｼﾆﾜﾙ 持田　美恵子 薮田　恵津子 由良　京子	五十嵐 かほる 稲鍵　亜早子 笠木　貴美子 小柴　明子 靜　敬太郎 寅巴里　ﾊｯｻﾝ 鳥居　祐岐子 中川　輝子 成田　夫光子 ﾅﾘﾆ・ﾄｼﾆﾜﾙ 持田　美恵子 薮田　恵津子 由良　京子	五十嵐 かほる 稲鍵　亜早子 笠木　貴美子 小柴　明子 靜　敬太郎 寅巴里　ﾊｯｻﾝ 鳥居　祐岐子 中川　輝子 成田　夫光子 ﾅﾘﾆ・ﾄｼﾆﾜﾙ 持田　美恵子 薮田　恵津子 由良　京子	稲鍵　亜早子 笠木　貴美子 小柴　明子 靜　敬太郎 鳥居　祐岐子 中川　輝子 中川　善博 中本　登美子 廣野　夫光子 薮田　恵津子 山本　一成	稲鍵　亜早子 笠木　貴美子 小柴　明子 靜　敬太郎 鳥居　祐岐子 中川　輝子 中川　善博 廣野　夫光子 丸山　いわお 薮田　恵津子

外国人支援委員会

役職/年度	2014	2015	2016	2017	2018
委員長	村上　晋	園田　妙子	園田　妙子	園田　妙子	植田　多江子
副委員長	黒田　瑞枝 麦谷　のり子	黒田　瑞枝 佐柳　美由紀	佐柳　美由紀 関　桂子	佐柳　美由紀 関　桂子	菊田　恵子 佐柳　美由紀
委員	安積　文子 安生　直美 植田　多江子 菊田　恵子 甲賀　久美子 小林　紀代子 佐柳　美由紀 園田　妙子 津上　佳子 廣石　公子 山本　潔 渡辺　美津子	安積　文子 池田　千恵美 河本　よしこ 神林　美國 菊田　恵子 小林　紀代子 関　桂子 廣石　公子 村上　晋 矢橋　高子 山本　潔	安積　文子 池田　千恵美 河本　よしこ 菊田　恵子 木山　和子 黒田　瑞枝 谷村　洋人 村上　晋 矢橋　高子 山本　潔	池田　千恵美 植田　多江子 河本　よしこ 菊田　恵子 木山　和子 黒田　瑞枝 鈴永　貴子 妹尾　佳世子 谷村　洋人 矢橋　高子	河本　よしこ 木山　和子 鈴永　貴子 関　桂子 妹尾　佳世子 園田　妙子 谷村　洋人 田原　智恵子 矢橋　高子

役職/年度	2019	2020	2021	2022	2023
委員長	植田　多江子	植田　多江子	植田　多江子	植田　多江子	植田　多江子
副委員長	菊田　恵子 佐柳　美由紀	菊田　恵子 関　桂子	鈴永　貴子 関　桂子	鈴永　貴子 関　桂子	鈴永　貴子 関　桂子
委員	木山　和子 鈴永　貴子 関　桂子 妹尾　佳世子 園田　妙子 谷村　洋人 田原　智恵子 矢橋　高子	木山　和子 佐柳　美由紀 鈴永　貴子 妹尾　佳世子 園田　妙子 谷村　洋人 田原　智恵子 番留　均 矢橋　高子	越知　紀子 菊田　恵子 木山　和子 佐柳　美由紀 妹尾　佳世子 谷村　洋人 田原　智恵子 番留　均 矢橋　高子	越知　紀子 菊田　恵子 木山　和子 妹尾　佳世子 谷村　洋人 田原　智恵子 天目　満彦 矢橋　高子	越知　紀子 菊田　恵子 木山　和子 妹尾　佳世子 谷村　洋人 田原　智恵子 天目　満彦 矢橋　高子

多文化共生 講演会

開催日	内　　容	講　　師	人数
2014年 3月15日	「ロシアの日」講演 ロシア民謡（アンドレイ・チェカエフ）、 ファッションショー、交流会	ロシア総領事夫人 マリーナ・ラチーポワ	75
2015年 3月14日	「ヨルダンの日」 講演『日本とヨルダン友好60周年』、交流会	ヨルダン王国大使夫人 シーファ・ハダッド	85
2016年 3月12日	「ラトビアの日」 講演、ミニ・ラトビア語講座、ラトビアの民族衣装	駐日ラトビア共和国大使 ノルマンス・ペンケ	105
2017年 3月18日	「インドネシアの日」 講演『インドネシアの伝統楽器について』、 ミニコンサート(パシール・ビンタン)、交流会	アリンダ・ゼ イ ン インドネシア共和国大使館 文化教育担当官	119
2018年 2月3日	「タイ王国の日」 講演『タイの魅力』、タイ舞踊、野菜・フルーツカービングデモンストレーション、交流会	NPO法人日本タイ教育交流協会 理事長 木村 滋世	148
2020年 2月15日	「ドイツの日」 講演『ドイツの環境問題の取組みについて』、 ミニコンサート、交流会	在大阪・神戸ドイツ連邦共和国 総領事　ヴェルナー・ケーラー	85
2022年 1月29日	多文化共生講演会『グローバル社会のコミュニティ防災』(オンラインでも開催)	名古屋外国語大学 世界共生学部 教授　　吉富 志津代	40
2022年 11月20日	多文化共生講演会 やさしい日本語落語　落語でわらって学ぶ	桂　かい枝	83
2023年 3月12日	「ミャンマーの日」 講演『「Yangonかるた」でミャンマーを知る』『現在のミャンマー情勢』、舞踊、文化体験、交流会	京都精華大学国際文化学部　特別任用 准教授　ナン ミャ ケー カイン 京都大学大学院生　メイナディジョ	84
2023年 9月24日	多文化共生講演会　トーク＆落語 『RAKUGO＆仏蘭西』	フランス人落語パフォーマー 尻流 複写二	46

ワールドフェスタ

開催日	世界の料理	ステージ	その他	人数
2013 年 11 月 17 日	韓国料理(チヂミ)、中国料理(炒めビーフン)、インド料理(タンドリーチキン)、タイ料理(カレー)、フランス料理(キッシュ)、イタリア料理(アランチーニ)、メキシコ料理(ナスとひき肉の重ね焼き)、ロシア料理(ビーフストロガノフ)、スペイン料理(レモンチキン)、ブラジル菓子(コーンケーキ)、フランス菓子(マドレーヌ)、コーヒー	ヘルマンハープ演奏(アンサンブル プチ エリーゼ)、野いちごコーラス(指揮:田中隆子、ピアノ:西村保美)、リコーダー演奏(リコーダーオーケストラO.R.S.)、夢クラブ(指揮:近藤かづこ、ピアノ:久保恵子)、ポリネシアンダンス(ハウオリ ポリネシアン スタジオ)、浜風コーラス(指揮:木山由美、ピアノ:鞍谷寛子)	バザー	530
2014 年 11 月 1 日	韓国料理（チヂミ）、中国料理（焼きビーフン、中華おこわ）、インド料理(チキンカレー）、フランス料理(キッシュ、マドレーヌ)、イタリア料理(アランチーニ)、スペイン料理(レモンチキン）、ロシア料理(アップルケーキ）、ドイツ料理(ピクルス）、アメリカ料理（ホットドッグ、ザワークラフト)、イギリス料理（シェパーズパイ)、白ご飯、飲料	ヘルマンハープ演奏(アンサンブル プチ エリーゼ)、マッジックショー(ともしびマジックサークル)、 朝日ヶ丘コーラス（指揮:田中隆子、ピアノ:西村保美)、インド舞踊(ルクミニー・ナオコ)、芦老連メンズコーラス(ピアノ:中谷勉)、ジャズ演奏(ジャズトリオ)		200
2015 年 11 月 14 日	イギリス料理(コロネーションチキン、キャロットケーキ)、イタリア料理(とうもろこしのフリテッレ)、インド料理(サモサ)、韓国料理(チヂミ)、スペイン料理(オムレツ)、タイ料理(ガパオ)、 中国料理(焼きビーフン)、メキシコ料理(ケサディーヤ)	二胡演奏(李 亜輝 with 二胡合奏団)、シャンソン(山下マリ子)、ラトビア伝統楽器クアクレ演奏(溝口明子)、 アカペラカルテット（サンセットフォー)、クラリネット演奏(藤平沙織)、 アフリカンドラム(ARA)		190
2016 年 10 月 30 日	イギリス料理(シェパーズパイ)、スペイン料理(オムレツ、レモンチキン)、タイ料理(ガパオ)、中国料理(中華おこわ)、日本料理(すき焼きパイ)、 ココアケーキ、バナナケーキ、抹茶カステラ、飲料、おつまみセット	タップダンス(じだんだ)、ギター弾き語り(山口兼司)、ハンドベル(ソレイユ)、ストリートダンス(ロゴス・ダンス・スクール)、詩吟＆書道(紫洲流日本明吟会 佐伯鳳侃 他、県立芦屋高校書道部)、アルゼンチンタンゴ（エルネスト＆ユミ)	お茶席	320

ワールドフェスタ

2017 年 10 月 29 日	＜世界のカレー＞ スリランカ料理(ベジタブルカレー)、タイ料理(ガパオ)、中国料理(カレーおこわ)、インド料理(チキンカレー、キーマカレー、サモサ)、白ご飯、飲料、クッキー	アンクロン(パシール・ビンタン)、ストリートダンス(ロゴス・ダンス・スクール)、野いちごコーラス(指揮：田中隆子、ピアノ：西村保美)、チアリーディング(芦屋ユナイテッドダイヤモンズ)、カウンターテノール(浦田 健一郎)	お茶席	330
2018 年 10 月 28 日	中国料理(あんこ春巻き) 、フランス料理(ガレット) 、スペイン料理(レモンチキン) 、イタリア料理(アランチーニ) 、インドネシア料理(ナシゴレン) 、タイ料理(スキヘーン) 、メキシコ料理(ベレンヘナス・コン・カルネ) 、ブラジル料理(パステル) 、飲料、カップケーキ、ローゲンマイヤーのパン	コーラス(ハイランドブリーズ)、ストリートダンス(ロゴス・ダンス・スクール)、ハワイアンバンド(JB ハワイアン)、チアリーディング(芦屋ユナイテッドダイヤモンズ)、歌とギター(青猫社)、クラッシックバレエ＆コンテンポラリー（ファーストピース）	お茶席	441
2019 年 10 月 27 日	中国料理(中華おこわ)、韓国料理（チャプチェ)、ギリシア料理(ムサカ)、タイ料理(ガパオ)、フィリピン料理(アドボチキン)、ラトビア(ひき肉のクレープ包み)、スリランカ(パティス)、エジプト(コシャリ) 、飲料、カップケーキ、ローゲンマイヤーのパン	コーラス(ハイランドブリーズ)、ストリートダンス(ロゴス･ダンス･スクール)、クラリネットアンサンブル(ベルズウィンドオーケストラ)、馬頭琴(ミンガド・ボラグ)、チアリーディング(芦屋ユナイテッドダイヤモンズ)	お茶席	502
2023 年 10 月 29 日	スペイン料理(レモンチキン)、韓国料理(チヂミ)、フィリピン料理(ルンピア)、ブラジル料理(オレンジレモンケーキ)、ローゲンマイヤーのパン、コーヒー ・日本スリランカ友の会関西（紅茶・ビスケットの販売） ・ミャンマーレッドローズ（モヒンガー、サムサ＆チャイ、ミャンマーの雑貨の販売） ・Colorful (クッキーの販売)	コーラス(浜風コーラス)、リコーダー(ジミニー・クリケット)、馬頭琴(アイン文化教室)、太極拳(唐 清龍とその仲間たち)、フラダンス(ＦＵＮ ＦＵＮ ＨＵＬＡ)、ストリートダンス(ロゴス･ダンス･スクール)	お茶席 バザー（食器類）	600

モンテベロ学生親善使節とホストファミリー

年度	回	芦屋	モンテベロ	ホストファミリー
2014	50	平野　菜翼 山﨑　直	Alejandro Zepeda Julieta Perales	平野　太進　山﨑　久 梅田　謙次郎　三宅　一史 佐治　義人　古賀　俊行
2015	51	加輪上　創介 昆　れい菜	Cristian Herrera Stephanie Gonzales	昆　真由美 佐治　義人　加輪上 浩之 小森　達仁　岩本　浩 奥田　光彦　村岸　進
2016	52	佐治　百合恵 山﨑　真奈	Lily Perales Astrid Herrera	佐治　義人　山﨑　久 高橋 洋之　網谷　新 林　仁　藤川　喜正
2017	53	花嶋　咲良 山隈　恵里子	Celeste Zepeda Alicia Amamoto	山隈 直人　花嶋　正人 浜田　久美子　中嶋　太郎 藤田　賢一　西見　誠一
2018	54	正木　志果 八木　新之助	Noah Alexander Lopez Lauren Gamboa	正木　達志　八木　誠吾 小椋　宏治　浅岡　宏明 谷口　治　酒井　英徳
2019	55	岡﨑　麟太郎 玉田　紗和	Zachary Bernal Angel Ruiz	玉田　圭司　岡﨑　孝勝 前川　雄一　松岡　和宏 中島　恭哉　近藤　大輔
2020	56	選考のみ		
2021	中止			
2022	中止			
2023	57	坪田　匠 花嶋　あいら	Alejandro Ruiz Andrea Ruiz	坪田　篤　花嶋　正人 木下　恵祐　追田　昭則 野村　建太　中島　恭哉

2013年度SA　奥田 孝祥

ひょうご国際交流団体連絡協議会 H29(2017)年度『草の根国際功労者表彰』受賞

芦屋市モンテベロ市姉妹都市提携55周年記念訪問団

芦屋市民訪問団派遣

2016年4月24日～4月30日

戸田　祐一（団長・ACA会長）
山中　健　（市長）
畑中　俊彦（市議会議長）
浅井　伊都子
宇佐見　裕子
奥野　貞子
奥野　尚史
髙雄　芳子
髙橋　洋一
滝谷　純
滝谷　政春
多田　京子
戸田　敬二
戸田　博子
戸田　香代子
天王寺谷　昭博
天王寺谷　美枝子
橋谷　靜子
今石　佳太（芦屋市）
平見　康則（芦屋市）
小林　明子（芦屋市）
元木　舞　（芦屋市）

モンテベロ市からの市民訪問団受入

2016年11月7日～11月13日

Emma Delgado（団長・MASCA会長）
Art Barajas　（市長）
Yae Aihara
Iluma Avila
Jacob Avila
Irma Barajas
David Delgado
Earnest Duran
Jose Enriquez
Carmen Enriquez
Victor Garcia
Carlos Haro
Gloria Haro
Edward Gene Holmes
Michael Okamura
Elias Perales
Adriama Perales
Raye Shibasaki

芦屋市・モンテベロ市　姉妹都市提携55周年記念　看護師交換プログラム

2016年4月24日～4月30日

矢ヶ部　康代（芦屋市民病院）

2016年11月7日～11月13日

Laura Berry （Montebello Beverly Hospital）

ホストファミリー

髙橋　洋一	井上　哲夫

モンテベロ市小学校教師招聘事業

2014年11月7日～12月1日

モンテベロ市教師

Silvia Ann Garcia

ホストファミリー

矢野　健太郎	井上　哲夫
前田　浩之	髙橋　洋一
平野　太進	

授業スケジュール

＜小学校＞

曜日	月	火	水	木		金
日にち	11/10、17 12/1	11/11、18	11/12、 19、26	11/20	11/27	11/14、 21、28
学校名	山手小	山手小	潮見小	精道小	打出浜小	潮見小
学年	6年	5年	6年	5、6年	5、6年	5年
クラス	6-1　39	5-1　32	6-1　35	5年　112	5年　93	5-1　32
児童数	6-2　39	5-2　33	6-2　35	6年　110	6年　80	5-2　32
（人数）	6-3　38	5-3　32	6-3　36			5-3　30
計	116	97	106	222	173	94

＜高校＞

日にち	11/25、28	
学校名	芦屋学園	
学年	2、3年	
生徒数	2年	約30
（人数）	3年	約30
計	約60	

作って食べよう世界の料理

回	開催日	内容	料　理　名	講　　師	人数
2014年度					
89	2月6日	フランス	キャベツのポタージュ　ベーコンのカプチーノ、 牛ヘレ肉のロースト　他	小沢　亮吾	29
90	3月13日	ロシア	ボルシチ、ポテトハンバーグ、アップルケーキ	エカテリーナ・ ベロウソア	29
91	4月7日	フランス菓子	フロランタン、ムラングノアゼット、バニラサブレ	西田　まり子	19
92	5月15日	ブラジル	鶏とサルシッチャのフェイジョアーダ、 ムサカ・ジ・ペイシュ　他	小沢　亮吾	21
93	6月24日	イタリア	グリッシーニ、ティンバロ、豚肉のインパデッラ、 ブルッティ・ブオーニ	田中　学	30
94	7月15日	イギリス	コーニッシュパスティ、フィッシュケーキ、 サマープディング	伊藤　光守	30
95	9月4日	ベトナム	ゴイクン（生春巻き）、トマトの肉詰め、 カニ身とアスパラのスープ　他	矢野　典子	30
96	10月6日	中国	台風で中止、99回へ振替	ー	－
97	11月6日	フランス	ヴィシソワーズ、The!!ドリア、 ア・ラ・プランチャ黒毛和牛	小沢　亮吾	29
98	12月15日	日本	野菜の寿南蛮漬け、祝い飯　黒米おこわ、バナナ茶巾 他	日下部　管子	31
99	2月16日	中国	蝦仁豆腐湯、拌塩茄子、鼓汁藕餅、薑汁白鶏	季　冬月	30
100	3月23日	薬膳	山芋黒ごまグリル3種の香り、 鰺とキャベツのベトナム・ライス　他	大田　ゆう子	30
2015年度					
101	4月2日	フランス	ホタルイカとゴボウのパスタ、 サーモンのマリネと香住ガニのサラダ、他	小沢　亮吾	31
102	5月28日	ポーランド	ボルシチ（ウクライナ風）、コールスロー、 ローストポーク 他	廣富　日登美	29
103	6月25日	アルゼンチン	トマテレジェーノ、ソパデトマテ、エンパナーダ、 プディン デ パン	仲西　フェデリコ	28
104	7月27日	フランス菓子	白ゴマのブランマンジェ＆きな粉ソース、 アーモンドチュイール、ケーク・オ・バニーユ	西田　まり子	19
105	8月10日	イタリア	押麦のクレームブリュレ、 白桃の冷製パスタ バルサミコ酢のソース　他	田中　学	23
106	9月1日	イギリス	コロネーションチキン、フィッシュアンドチップス、 キャロットケーキ	伊藤　光守	17
107	10月16日	薬膳	杏仁と梨、白きくらげのスープ、 豚肉のソテー　巨峰とマスタードのソース　他	大田　ゆう子	25
108	11月16日	メキシコ	トルティーヤ・スープ、タコス、メキシカン・ライ ス、ソパピアス　他	グレッグ・スタイン	22
109	12月14日	日本	あぶり鮭の柚香づけ、鴨のロースの蒸しびたし、 押し寿司、きやの汁　他	日下部　管子	27
110	2月8日	イタリア	生ハムを巻いた白ネギのインパデッラ、 パッパ アル ポモドーロ 他	田中　学	24
111	3月28日	コスタリカ	黒インゲン豆スープ、パルミトサラダ、焼きバナナ、 コスタリカの伝統的なソース　他	モンヘ・ヴィニシオ	30

作って食べよう世界の料理

回	開催日	内容	料　理　名	講　　師	人数
2016年度					
112	4月21日	インドネシア	ナシゴレン、チキンのバーベキュー、ダウフースー プ、ココナッツタルト	矢野　典子	22
113	5月9日	タイ	タイ グリーンカレー、ナスとエビのヤム、 キュウリの炒め物	石村　ウマークン	27
114	6月23日	中国	酸菜鶏湯、生菜魚髭、椒塩排骨肉、金沙豆腐、 干貝青江菜	李　冬月	17
115	7月5日	テクスメクス	メキシカン・チーズ　ディップ、チキンファヒタス、 フラワートルティーヤ　他	グレッグ・スタイン	27
116	9月17日	ラトビア	ボルシチ、パンケーキ（甘いバージョン）、 パンケーキ（ひき肉の具）、サラダ	アンティポヴァ・ダナ	22
117	10月21日	アジア	チャーゾー、メッマムアン、カレーアヤム、杏仁豆腐	矢野　典子	22
118	11月28日	イタリア	ガット ディ パターテ、スカルペッレ、 ローズマリーのフォカッチャ　他	田中　学	30
119	12月12日	日本	本格PIZZAのフレッシュボール、 薔薇とハイビスカスのジュレ　他	丸尾　浩司	29
120	1月30日	アジアン フレンチ	宮崎県産さくら姫のトムヤムガイ、 愛媛産ブリのカルパッチョ　他	小沢　亮吾	29
121	2月23日	イギリス	アップルクランブル、ビーフ・イン・ギネス	伊藤　光守	21
122	3月24日	フランス	ココナッツチョコクッキー、バニラのディアマン、 プチガトーラナナ　他	西田　まりこ	15
2017年度					
123	4月14日	フランス	明石産鮮魚のロースト　ソースシャンパーニュ、 ヴィッシソワーズ　他	小沢　亮吾	26
124	5月30日	スリランカ	本場のスリランカ10種スパイスのシーフードカレー、 瓜のサラダ　他	池本　ニルミニ	29
125	6月5日	イタリア	サルシッチャとナスのトマトソーススパゲッティ、 人参のマリネ、他	田中　学	28
126	7月3日	ドイツ	煮込まず簡単なスペアリブのアイスヴァイン風、 ギネスビールの田舎風ケーキ　他	丸尾　浩司	30
127	8月1日	スペイン	宮崎県産鶏のエスカベッチェ、 淡路産鱧とキノコのピルピル　他	小沢　亮吾	20
128	9月22日	韓国	ビビンパ、トッポッキ、チャプチェ	浅井　淑姫	27
129	10月16日	ハンガリー	ヌケドリ、ハンガリー風きゅうりサラダ、パラチンタ	メルセデス・ドブラー	26
130	11月13日	イタリア	ピアディーナ(エミリアロマーニャ地方のパニーニ）、 ファルソマグロ　他	田中　学	27
131	12月4日	日本	鶏の重ね松風焼き　山椒風味、エビ団子の吉野煮、 中華風雑煮鍋	日下部　管子	30
132	2月19日	オランダ	菜の花とエダムチーズのパンケーキ、 アップルパイボール　他	丸尾　浩司	26
133	3月15日	中国	紅焼肉、ピーマンとじゃがいも炒め、 海老のマヨネーズ和え、ふかひれスープ　他	舒 敏華、史 暁梅	22

作って食べよう世界の料理

回	開催日	内容	料　理　名	講　　師	人数
2018年度					
134	4月16日	イギリス	コテージパイ、スムフ、スコーン	伊藤　光守	14
135	5月10日	インド	チキンカレー、ポテトサモサ、レモンサラダ、ミルクティー	シェザナ・トラバリー	14
136	6月15日	タイ	ヤムウンセン、スキヘーン、クンオップウンセン、タオスワン	タイ王国大阪領事館チーフシェフ	30
137	7月9日	インドネシア	セムール　アヤム、カネドク、エス　チャンプル	ロシ・セティアワティー	18
138	9月10日	ブラジル	ブラジルサラダ、ハムとチーズの包み揚げ、トマトソースとチーズのポークカツレツ　他	ナンシー 伊藤	29
139	10月15日	日本	ベーコン・玉ねぎ・ズッキーニのキッシュ、チョコレートバウンドケーキ	西田　まりこ	28
140	11月12日	スイス	スライス牛肉のクリーム煮ポテト添え、サラダ、キャロットケーキ	ディーター・ソンマーハルダー	30
141	12月3日	日本	クリスマスツリーのオードブル、ボイルドポークのマスタードソース風味　他	日下部　管子	30
142	2月4日	ノルウェー	ノルウェーサーモンのオーブン焼き、ベイクドポテト、キューカンバサラダ　他	マリエ・スチュガード	30
143	3月11日	ドイツ	ドイツのじゃがいも野菜スープ、手作りソーセージ 赤キャベツ添え　他	シャウベッカー夫妻	30
2019年度					
144	4月22日	イタリア	シーフドパスタ、アンチョビとカプレーゼ、サーモンとブロッコリーのオムレツ　他	ルカ・ステリーニ	30
145	5月13日	ネパール	豆のスープ、キーマ豆カレー、ネパールの野菜サラダ、ジャガイモのアチャル添え　他	バティ　海野	26
146	6月3日	日本	水無月豆腐のお吸物、蓮根の袋煮、鮭のソテーとマッシュドグリーンピース、　他	日下部　管子	29
147	7月8日	スリランカ	レンズ豆カレー ビーフン添え、パティス、野菜サラダ、キリパニ、シナモンティー	池本　ニルミニ	25
148	9月2日	エジプト	カブサ、フムス、ライスプディング	カリール・フセイン	23
149	10月21日	フィリピン	チキンカレー、ルンピア、エンサラダ、タホ	森本　潤子	20
150	11月11日	ルーマニア	焼きナスのサラダ、きのこのピラフ、セモリナ団子スープ、アップルパイ　他	マリア・ポポヴィッチ	29
151	12月2日	日本	祝い鯛の中華風蒸し物、豚コース肉のウーロン茶煮、輪切りなます　他	日下部　管子	30
152	2月3日	イタリア	季節のサラダ、マグロのタルタル、ボロネーゼソース、パンナコッタ	大島　隆司	29
153	3月9日	タイ	コロナで中止	村木　タッサニー	－

作って食べよう世界の料理

回	開催日	内容	料　理　名	講　　師	人数
2020年度					
154	4月20日	エジプト	コロナで中止	カリール・フセイン	－
155	5月11日	フランス	コロナで中止	濱田　孝一	－
156	6月15日	ペルシャ	コロナで中止	サバ・サリミ	－
157	7月20日	インドネシア	コロナで中止	マヤ・ミルザ・ヌール・ヒダヤット	－
158	9月7日	エジプト	モロヘイヤスープとエジプト風ライス、チキンケバブピタパンサンド　他	カリール・フセイン	15
159	10月5・19日	タイ	バッタイ、トム・ヤムクン、クルゥ・アイ・プアッチ	村木 タッサニー	30
160	11月9日	フランス	さつまいもとクルジェットのラペ、サーモンのスフレ、リンゴのクレープ 他	濱田　孝一	28
161	12月14・21日	日本	松かぜ風ミートローフ、中華風筑前煮、人参のカレーきんぴら 他	日下部　管子	29
162	2月8日	イラン	レンズ豆ごはん、サフラン鶏肉、牛乳スープ、レーズンとくるみサラダ　他	サバ・サリミ	16
163	3月15日	コスタリカ	ポジョ・カリペニョ、ライス＆ビーンズ、サラダ、タマルデエロテ（コーンケーキ）	マルガリータ・モラレス・フローレス	28
2021年度					
164	4月19日	南インド	パコラ、レモンライス、ジャガイモとキャベツのカレー、ベジタブルクルマ他	ラミヤ・シャム	14
	5月～12月	－	潮芦屋交流センターがコロナ予防接種会場となり中止	－	－
165	1月17日	韓国	キンパ、チャプチェ、トッポギ、チヂミ、ナムル三種、ミョックク、プクミ	日下部 管子	14
166	2月14日	タイ	コロナで中止	竹内 パナッダー	－
167	3月14日	イラン	コロナで中止	タホウリ・セイド・モハメド	－
2022年度					
168	4月11日	インド	ブルタ（サラダ）、チキンカレー、チーレ、マンゴラッシー	アイニー・トラバリー	16
169	5月30日	イラン	ククゥ（オムレツ）、ターチン（おこげごはん）、シラズのサラダ、三色のフレニ	ナシム・アバシ	13
170	6月13日	タイ	マッサマン(タイカレー)、ポーピアイソッド(生春巻)、トムサーク	竹内 パナッダー	22
171	7月11日	イギリス	チキン、モッツァレラ、バジルのプロシュート包み、トマトのオーブン焼き、パン、ラング・ド・シャ	カール・セルマン	25
172	9月12日	中国	トマトと卵のスープ、八宝粥、水餃子、木綿豆腐のごま和え、ピリ辛きゅうりの蛇腹切り	呉　健偉	21
173	10月17日	ルーマニア	サルマーレ、チョルバデペリショアレ、ファソレバトゥタ、ミルフィーユ、パン	エレーナ・ガブリエル	23
174	11月28日	モロッコ	ラタトゥイユ、クスクスサラダケバブ添え、モロッコお好み焼き、ミニパスタスープ、旬のフルーツソースがけヨーグルト	正木　カデ	22
175	12月5日	日本	祝い肴5種盛、鯛中華風蒸し物、バッテラ、栗大福	日下部　管子	23
176	2月20日	パキスタン	ビーフピラフ、チキンカレー、赤レンズ豆スープ、フルーツサラダ、ナン、チャイ	エレーナ・ガブリエル	24

作って食べよう世界の料理

回	開催日	内容	料　理　名	講　　師	人数
177	3月27日	メキシコ	タコス、カボチャスープ、ヴァカモレ、フルーツデザート	グアダルーペ 伊藤	22

2023年度

178	4月17日	シリア	ヨーグルト&マカロニのスープ、 シャワルマ鶏肉のマリネ、スクランブルエッグ&ヨーグルトの和え物、パン&フムスのディップ、バスブーサ	ジェニー・ベドロセヤン	23
179	5月22日	コスタリカ	ひよこ豆と豚肉の煮込み、ビ-ツサラダ、コスタリカ風白ご飯　他	マルガリータ・モラレス・フローレス	23
180	6月26日	スペイン	イカ墨フィデワ、フディアスサラダ、ガスパチョ、カラメル焼きした桃	ラファエル・オルティス	26
181	7月3日	ブラジル	クスクス パウリスタ、牛ひき肉のルラード、フェイジョン、オレンジ＆レモンケーキ	ホザンジェラ 岩瀬 マルチンス	24
182	9月18日	アルメニア	マンティ、ナスロール、サラダ、トマトスープ	ジェニー・ベドロセヤン	23
183	10月15日	バスク	ヒルダ、サーモンのカルパッチョ、ピンチョシャカ、オムレツ、バスコケーキ	ファビアン・エスキベル	20
184	11月27日	カーボベルデ	カチュパ、フルーツサラダ	レイサ・モレノ	17
185	12月4日	日本	カニかましぐれ、紅白別々なます、七宝煮、和風ローストビーフ、野菜の重ね煮雑煮	日下部　管子	24
186	2月26日	タイ	ゲーンパネーン、ヤムカイダウン、ゲーンブァウフアトン	竹内 パナッダー	21
187	3月18日	中国	貝柱入りわかめスープ、お野菜の風味炒め、海鮮焼きビーフン、つぶあんの春巻	呉　健偉	20

セミナー／落語

年度	開催日	内　　容		講　　師	人数
2014	4月17日	ラフカディオ・ハーンを読む	漢字と鳥居の衝撃	玉井暲 武庫川女子大学文学部教授 大阪大学名誉教授	44
	5月15日		ハーンと浦島伝説		31
	6月19日		小泉八雲集		22
	9月18日	トマス・ハーディーの小説を読む	テスとストーン・ヘンジ	玉井暲 武庫川女子大学文学部教授 大阪大学名誉教授	26
	10月16日		ジュードと大学町オックスフォード		24
	11月20日		ハーディーカントリーの魅力		17
2015	4月16日	イギリス19世紀末文学の魅力	イギリス世紀末の社交界	玉井暲 武庫川女子大学文学部教授 大阪大学名誉教授	25
	5月21日		大流行のジャポニズム		22
	6月18日		夏目漱石と世紀末芸術		18
	6月13日	内田 樹 講演会「街場の教育論」 （会場：芦屋ラポルテホール）		内田 樹　神戸女学院大学 名誉教授	177
	9月17日	ゲーテとともに「いま」を生きる	ゲーテの生涯と時代の素描	林　正則　大阪大学名誉教授 放送大学大阪学習センター アドバイザー(前所長)	26
	10月15日		ヴァイマルへ、そしてイタリアへ		19
	11月19日		革命・自然研究・シラー		22
2016	4月14日	ゲーテ『ファウスト・悲劇』の宇宙	悲劇第1部　学者悲劇からグレートヒェン悲劇へ	林　正則　大阪大学名誉教授 放送大学大阪学習センター アドバイザー(前所長)	25
	5月19日		悲劇第2部小世界から大世界へ		23
	6月16日		ドイツ文学におけるファウストの系譜とその係累たち		21
	9月15日	いましばしゲーテにこだわって	ゲーテの『ファウスト』と藤村『夜明け前』	林　正則　大阪大学名誉教授 放送大学大阪学習センター アドバイザー(前所長)	17
	10月20日		ゲーテ『親和力』を読む（1）		19
	11月17日		ゲーテ『親和力』を読む（2）		18
2017	4月13日	「ことば / テクスト」に向き合うということ －ドイツ文学の世界から－	ヘルダー『エドワード』/ゲーテ『魔王』/ハイネ『ローレライ』	林　正則　大阪大学名誉教授 放送大学大阪学習センター アドバイザー(前所長)	24
	5月19日		シュトルム『三色菫』		13
	6月15日		カフカ『変身』/パウル・ツェラーン『死のフーガ』		14
	9月14日	ムラカミワールドを探る～阪神間少年・村上春樹が見た作品の原風景～	芦屋・夙川に見る村上作品の原風景	小西 巧治　西宮芦屋研究所副所長 神戸国際大学非常勤講師 （阪神間文化論）	25
	10月19日		村上春樹とネコ、野球、酒の話		23
	11月9日		世界のムラカミ・ハルキとその風景		13

セミナー／落語

年度	開催日	内　　容	講　　師	人数
2018	4月21日	カズオ イシグロの世界 『浮世の画家』と『日の名残り』における 「励む姿」の映像	玉井暲 武庫川女子大学文学部教授 大阪大学名誉教授	54
	6月10日	ACA国際交流セミナー 「東西南北 違いのある米国文化」 「ホストファミリーの心構え」	兵庫県国際交流員 ジェームス・ボリンジャー シムズ・カイ	31
	8月17日	英語落語	桂　福丸	86
	11月17日	小説家としての小林一三 ～大実業家、小林一三のもう一つの顔に迫る～	柏木 隆雄　大阪大学名誉教授 大手前大学前学長	35
2019	6月23日	英語落語	桂　福丸	123
	11月16日	井原西鶴と元禄文化　―世界が注目する上方文学―	森田　雅也　関西学院大学 文学部 文学言語学科教授	31
	2月21日	お能の世界にふれてみよう	シテ方観世流能楽師　長山　耕三	59
2020	10月24日	ミャンマーの「今」を考える	田村 克己　国立民族学博物館 元副館長・同館名誉教授	56
	2月26日	『脳の話』～ NY市セントバルナバス病院の 経験を経て～	奥　謙　関西ろうさい病院 名誉院長　脳神経外科専門医	51
2022	6月26日	英語落語	桂　福丸	80
	11月20日	やさしい日本語落語　落語でわらって学ぶ	桂　かい枝	83
	11月27日	パンデミックと文学	森　道子氏　大手前大学名誉教授 十七世紀英文学会所属	45
	2月26日	芦屋・阪神間モダニズムに 見られる外国人との共創	三宅正弘　武庫川女子大学准教授 地域計画家	73
2023	5月14日	英語落語	桂　福丸	75
	11月19日	日本在住カナダ人から見た (文化融合の地）カナダの魅力	マーク・フィールデン 神戸大学 経営学部講師、大阪女学院大学講師、大阪女学院中等・高等学校、TENISH®代表	65
	2月18日	女性が輝くスウェーデンから何を学ぶか	廣木 麻美子 かすみがせき婦人会副会長	67

コスモポリタンナイト

年度	開催日	テーマ	内　　容	人数
2013	5月18日	Let's-Get-Together Party	英語（あるいは日本語）でおおいに国際交流 五月の夕べのPot-Luck-Dinner	34
2014	11月14日		英語で楽しく交流をする練習の場を市民、英語教室受講生に提供する。モンテベロからの教師、シルビア先生を歓迎し両市の情報を交換し親善をはかる。	52

潮芦屋コンサート

年度	開催日	テーマ	出　演	人数
2014	6月19日	こだわりの アメリカンモダンフォーク	ザ・ルーラル・シンガーズ	81
	8月3日	ハワイアンの夕べ	レイ・オブ・スターズ、キミヨ・フラ・ハラウ	104
	1月24日	なつかしの 60 年代フォークコンサート	Marvelous Toys	104
2015	7月26日	ハワイアンの夕べ	ヒロ ハワイアンズ、ポーマイカイフラスタジオ	118
	9月26日	ウィーンで研鑽を積んだ演奏家による 夢の饗宴	ヴァイオリン 泉 里沙、ピアノ 韓 吏花	62
	3月20日	クラリネット五重奏	クレセント吹奏楽団	60
2016	6月18日	リコーダーコンサート	リコーダーオーケストラO.R.S.	52
	8月6日	ハワイアンの夕べ	ヒロ・ハワイアンズ、Ka Pa Hula O Hoaloha	93
	3月4日	おやこふれあいコンサート	同志社室内楽団	90
2017	7月29日	ハワイアンの夕べ	ヒロ ハワイアンズ、ポーマイカイフラスタジオ	100
	12月10日	クリスマスコンサート カウンターテノールソロと クラシックギターのデュオ ＆ハンドベル	浦田 健一郎、加藤 奏、ソレイユ	45
	3月3日	おやこふれあいコンサート 風船おじさんとあそぼう	頌栄短期大学ハンドベルクワイアOGチーム バルーンアート安木 良明	87
2018	5月20日	シャンソンの花束	荒木 直子、渕上 秀樹、岸田 正昭、中村 ゆうこ	85
	7月28日	ハワイアンの夕べ	ヒロ・ハワイアンズ、Ka Pa Hula O Hoaloha	71
	3月2日	おやこふれあいコンサート かば☆うまさんと遊ぼう	NPO法人こども育ちわたし育ちMadrina かば☆うま	134
2019	7月26日	ハワイアンの夕べ	ヒロ・ハワイアンズ、Ka Pa Hula O Hoaloha	123
	9月21日	マリンバとピアノコンサート 秋風に想いを乗せて	角村 久美子、 栂井 曜子	73
	12月7日	クリスマスJAZZコンサート	満島 宏美、苅谷 宣之	73
2020	3月28日	ハープ＆ピアノの調べ いやしのひとときをあなたに	石井　理子、角村 久美子	63
2021	3月20日	春のおとずれによせて リコーダと弦楽のしらべ	アンサンブル ダ・カーポ	77
2022	4月23日	煌めきラヴリーコンサート～ソプラノ、フルート＆ピアノ　愛の調べ	公益財団法人アルカディア音楽芸術財団	94
	8月28日	ハワイアンの夕べ	ワイキキ72、カイオロヒア	110
	12月18日	クリスマスJAZZコンサート	藤井 貞泰、 緑　ゆみ子、山本　学	104
2023	6月17日	アルパコンサート～南米のハープで元気と癒しのひととき	アルパデュオソンリーサ（エンリケ・カレーラ、松木 亜里沙）、菅野 吉也	118
	7月30日	ハワイアンの夕べ	ワイキキ72、カイオロヒア	97
	12月17日	クリスマスJAZZコンサート	折井 章吾、川瀬 健、五島 健史、緑 ゆみ子、藤田 洋	123

芦屋市国際交流協会

ＡＣＡ語学教室

＜教室場所＞

潮芦屋交流センター	ラ・モール芦屋
大原集会所	市民センター

月曜クラス		火曜クラス		木曜クラス
英会話（初級）	英会話（基礎）	英会話（中級）	親子英語	英語朗読（中級）
10：15-11：45	13：30-15：00	10：15-11：45	10：15-11：00	10：30-12：00
基本にプラスして楽しいトーク	会話の基礎と基本を学びます	トピックスでフリートーク	英語リズムを楽しむママとお子様の大切な時間	児童文学からシェイクスピアまで様々な文を朗読します。
	INTERNATIONAL EXPRESS	New Interchange 3		英語朗読（世界の童話）
Stephen Donald(英国)	Stephen Donald(英国)	John Dix(米国)	平岡　綾子	中本　幹子

木曜クラス		金曜クラス		
英会話（中級）	英会話（初級）	トラベル英語	英会話（初級）	英会話（初級）
13：30-15：00	18：35-20：05	10：15-12：00	10：15-11：45	13：00-14：45
トピックスでフリートーク	高校生から社会人まで一緒に学んでいます	観光英語会話のポイントが学べます	基本にプラスして楽しいトーク	コミュニケーションを楽しみましょう
Compelling Conversations	Interchange 2	Rhythmical Conversation		NEW ALL TALK I
John Dix(米国)	Mathew Boyd(英国)	御園生 寛子	Stephen Donald(英国)	植田　伸子

火曜クラス	木曜クラス			木曜クラス
スペイン語（中級）	英会話（中級）	英会話（初級）	English Reading salon	
13：30-15：00	10：00-11：30	15：00-16：30	12：45-14：45	9：45-11：45
コスタリカ出身の先生の丁寧なレッスン	トピックスでフリートーク	基本にプラスして楽しいトーク	アメリカ、イギリスの長編、短編を少しずつ読み進めます。	
Tema a tema　BI	New Interchange 3	International Express	“Absent in the Spring” Reading Jump Plus 2	“Klara and The Sun” Reading Jump Plus I
Marco Vinicio	John Dix(米国)	Stephen Donald(英国)	戸田　博子	戸田　博子

金曜クラス
英会話（中級）
10：00-11：30
愉快な先生と仲間で賑やかなクラス
Touchstone Level 3
Mathew Boyd(英国)

・随時受講を開始していただけます。
・クラス人数：およそ５～10人
・受講料は３カ月毎の全納制です。
（お支払い後の返金は原則としてできませんのでご了承下さい。）
・講師は、代講及び稀に途中変更となる場合があります。
・見学ご希望の方は前日までにお申し込み下さい。

お申込み・お問い合わせは

芦屋市立潮芦屋交流センター

（指定管理者：認定NPO法人芦屋市国際交流協会）

〒659-0035　芦屋市海洋町７番１号

ＴＥＬ：０７９７－２５－０５１１

メール：aca@npo-aca.jp

（受付時間９：００～１７：３０　水曜休み）

芦屋市国際交流協会

ACA語学教室

- 英会話（基礎・初級・中級）
- トラベル英語
- ママも楽しむ親子英語
- 英語絵本童話朗読クラス
- English Reading Salon
- スペイン語（中級）

講師紹介・・・私たちと一緒に楽しく学びましょう。



英会話 初級・中級クラス　　Mathew 講師

To enable students to communicate and improve their English ability to a higher standard. Also to inspire cross-cultural understanding. To have fun, enjoy English and upgrade your ability of communication.

★Mathew★British,York university「HND Drama,　film and stage management」Guilford College London「Cambridge RSA certificate in teaching English」Interests & Hobbies：Martial arts, tennis, football



英会話 基礎・初級クラス　　Stephen 講師

The conversation classes enjoy a fun and welcoming atmosphere , and we often split into small groups for activities and games. These classes have plenty of time and space for individual questions and student driven topics.まだ英会話が慣れていない人、ベーシックの受講生の方は、英語を上達させ楽しく学ぶことを目標としています。初心者クラスでは “本当の” 初心者のみ歓迎します。

★Stephen★British teacher with an Honours degree from The University of Stirling in Scotland, and a Master’s Degree from Leicester University in England.



英会話 中級クラス　　John 講師

Primarily free conversation, with an emphasis on current topics presented by both the students and teacher.Class is usually half free conversation and half. Let’s improve our English through conversation.

★John★U.S.A.　Liberal Arts Degree with an emphasis on Art. Interests & Hobbies：Ceramics, cooking, politics.



スペイン語クラス　　Vinicio講師

スペイン語での「読む・書く・聞く」という全てのコミュニケーション能力を高める為に、授業は全てスペイン語で行われ、あたかも外国で学んでいる様な体験もて来ます。スペイン語 は世界20か国以上で話されており、それぞれの国が異なった文化を持っています。このクラスで学ぶことを通し学習者の方は、多くの素晴らしい経験をすることができるでしょう。

★VInicio★ コスタリカ　サン・ホセ出身

趣味：日本の文化、ネットサーフィン、読書、旅行、マリンスポーツ



英語・英会話初級クラス　　植田 伸子 講師

テキストを用いてやさしい英語のやりとりをしながら、土台となる文法を振り返ったり、英語の文化にふれることを目標とします。 日頃の思いや出来事を簡単な英語で表現し、楽しく交流していきましょう。

★植田 伸子★ 聖心女子大学英文科卒業　中学校、高等学校、塾で長年英語指導

趣味：植物鑑賞　音楽



トラベル英語クラス　　御園生 寛子 講師

何か新しいことにチャレンジしてみたい。「英会話は前からやってみたかったけどその一歩が踏み出せない」と思いの方、ACAで英語を初めてみませんか？「トラベル English」のクラスでは最近英語を始められた方、海外旅行を再開されたい方、脳トレの一環として英語を続けられている方などが楽しく学んでおられます。海外旅行で役に立つ表現やすぐに使える日常会話などたくさん学ことができます。時折、nativeのゲストをお迎えしてお話をして頂くこともあります。まずは体験レッスンにいらしてみませんか？ ★御園生 寛子★同志社大学文学部英文学科卒業　米国ワシントン州１年間留学　通訳案内士 趣味：歴史探訪（特にお城巡り）



英語朗読クラス　　中本 幹子 講師

英語を学習していく上で音読の重要性はよく知られていますが、そこから一歩すすんで、聞き手の皆さんにより感動を与える英文朗読をしてみませんか。お話しに出てくるキャラクターをそれぞれに演じたり、ナーレーションを平坦に読んだり、聞き手を意識して朗読すると気分も晴れてきます。本コースは児童文学からシェイクスピアまで様々な名分を解釈しながら音読・朗読をします。さまざまなトッピングについて話すshare timeもあります。

★中本 幹子★ 米国ワシントン州ショークレストハイスクール卒、児童英語教育研究家　児童英語テキスト・教員養成テキストの著者、英語絵本作家



English　Reading salon　　戸田 博子 講師

本が好きで、原書を読みたいけれど、なかなか最後まで読み切れなくて、と思っておられる方、是非ご一緒に読みましょう。大人になって原書のReadingは人生の味わいそのものです。本が好きで、英米小説の原書を読むのが好きでした。同じように思う方もいらっしゃるのではと思い、また、この楽しみを共有いたいと講座を始めて20年、短編もの英米の名作、長編、短編を読んできました。時には1冊を１年、２年かけて読みます。原書で読むとじっくり、深く心に入るからでしょう。後々までよく覚えています。一つ一つの言葉の訳をめぐって皆さんとキャッチボールは楽しいものです。

★戸田 博子★ 神戸女学院大（英文）卒　渡米歴2年　児童英語教授　English Reading salon　趣味：コーラスアンサンブル、チェロ



ママも楽しむ親子英語クラブ　　平岡 綾子 講師

未来の可能性を広げる特別な英語時間を一緒に作りませんか。Rhymoe Methodは、英語、リズム、体の動きを融合させた「英語の自然なリズムを習得する」ための心と身体をつくる、ユニークなコンセプトの英語教育メゾネットです。このメゾネットを効果的に取り入れ、英語のリズムで働き、英語を聞いてロずさむことで、英語が身体に染み込みます。親子で一緒に過ごせる時間は長いようで短いもの。今だからこそできる親子の英語時間をご一緒するのを楽しみにしています。

★平岡 絢子★ 米国ワシントン州Eastern Washington University Communication Stud-ies卒米国系航空会社で乗務経験.おすすめの旅先Seattle.3人のママ

芦屋市立潮芦屋交流センター（指定管理：認定NPO法人芦屋市国際交流協会）

659-0035 芦屋市海洋町7番1号　TEL：0797-25-0511　FAX：0797-25-0512（受付時間9：00～17：30（水曜休み））

日本語教室

場所 / 曜日	潮芦屋交流センター	ラ・モール芦屋（北教室＊）
月曜日	午前 10 時 30 分〜12 時	
	午後 1 時 30 分〜 3 時	
火曜日	午後 6 時〜 9 時 （この間の 90 分）	午前 9 時〜12 時 （この間の 90 分）
木曜日	午前 10 時 30 分〜12 時	
金曜日		午後 1 時 30 分〜3 時
土曜日	午前 10 時 30 分〜12 時	
	こどものための日本語教室 午前 10 時 30 分〜12 時	

＊北教室

〜　2015 年 3 月　　西本建設ビル　　2015 年 4 月〜2019 年 3 月　リードあしや
2019 年 2 月〜3 月　ウィザス芦屋　　2019 年 4 月〜　　ラ・モール芦屋

外国人のための文化教室

書道教室	華道教室	茶道教室
第 2 金曜日 13:30〜	第 3 金曜日　14:00〜	第 4 金曜日　13:30〜
2013 年 6 月〜 薮田　恵津子	2013 年 9 月〜2022 年 5 月 中村　丹峯（草月流） 2022 年 11 月〜 河上　喜久（未生流）	2015 年 4 月〜 中崎　寿子（裏千家）

日本語ボランティア養成講座

年度	期間	講師	人数
2014	5月15日〜6月26日 毎木曜日（全7回）14:00〜16:00	斎藤　明子 神戸YWCA学院主任講師	37 （修了36）
2016	5月14日〜6月25日 毎土曜日（全7回）10:00〜12:00	五味　たまき HIA登録講師	37 （修了35）
2018	2018年　5月26日〜7月7日 毎土曜日（全7回）10:00〜12:00	元村　尚美 HIA登録講師	30 （修了28）
2021	2021年　5月30日〜7月11日* 毎日曜日（全7回）9:30〜11:30	矢谷　久美子　　福井　武司 いずれも　HIA登録講師	42 （修了40）

*2021年度のみ市民センターで開催

やさしい日本語講座

（ひょうご国際交流団体連絡協議会人材育成事業 「やさしい日本語」普及講師派遣事業）

年度	開催日	講師	内容	人数
2018	9月28日 （金）	神戸大学名誉教授 水野　マリ子	「生活情報」や「お知らせ」などの情報を「やさしい日本語」で作成する	31
2019	10月 7 日 （月）	京都工芸繊維大学教授 水野　義道	緊急時に、外国人住民を情報弱者にしないよう、「やさしい日本語」で簡潔に情報を伝える	17
2020	11月13日 （金）	神戸YWCA学院主任講師 福井　武司	【初級】「やさしい日本語」とは何かについて学ぶ	24
2021	2月10日 （木）	神戸大学名誉教授 水野　マリ子	生活・行政情報編	21
	3月1日 （火）	神戸日語学院専任講師 斎藤　明子	教育・学校情報編	24
2022	10月21日 （金）	神戸YWCA主任講師 福井　武司	会話編	21
	11月7日 （月）	神戸日語学院専任講師 斎藤　明子	教育・学校情報編	24
2023	9月8日 （金）	京都工芸繊維大学名誉教授 水野　義道	災害編	14
	10月23日 （月）	神戸日語学院専任講師 斎藤　明子	会話編	12

やさしい日本語の会　（自主勉強会）

回	年度	開催日	講師	人数
1	2021	11月18日（木）	講師：鈴永　貴子	9
2		12月17日（金）		12
3	2022	4月21日（木）		13
4		5月26日（木）		9
5		6月23日（木）		5

日本語ボランティア ブラッシュアップ講座・自主的な勉強会

年度	開催日	講師	内容	人数	
2014	7月8日（火）	斎藤 明子	教え方について、学習者の対応、異文化理解	17	
	①10月7日（火） ②11月4日（火） ③12月2日（火）	石井 真未枝	①テキストのいろいろな使い方を考えよう！ ②学習者にあった教材を探してみよう！ ③日ごろの疑問点をみんなで考えよう！	①31 ②35 ③35	*
2015	①10月10日（土） ②10月24日（土）	彌城 まり子	①こども教室見学 ②意見交換、先生からのアドバイス等	①6 ②6	**
	①10月8日（木） ②11月５日(木) ③12月 3日（木）	板谷 佳代子	①②コミュニケーション能力向上につながる活動を考える ③学習者に必要な日本語能力を考える	①22 ②17 ③12	*
2016	10月6日（木）	中川　祐子	グループレッスンの基本を学ぶ	24	*
2017	10月19日（木）	矢谷 久美子	活動を振り返る～初級者とのおしゃべりの活動～	17	*
2018	7月20日（金）	鈴永 貴子	豊かな異文化体験を持つ講師による日本語講師に役立つトークセミナー	28	
	①10月4日（木） ②10月11日（木）	野村 麻里	交流・対話中心の活動を取り入れてみよう	18	***
	3月15日（金）	園田 妙子	ビギナーを教えるにあたって知っておきたいこと－文型のつながり そして異文化接触	20	
2019	9月20日（金）	島津 浩美	日本語の音は難しい？－学習者がわからない音－	15	
	1月17日（金）	①木山 和子 ②植田 多江子	①「日本語支援方法ブラシュアップ講座」で学んだこと ②ACAにおけるやさしい日本語の取り組み	14	
2020	2月19日（金）	①尾崎 美穂 ②植田 多江子	①Zoomレッスン体験談の共有～苦労話etc. ②HIAテキスト「できる？できた！くらしの日本語」活用法	①９ ②13	
	①３月11日（木） ②３月13日(土) （Zoom）	①近沢 幸治郎 ②石井 真未枝	①Zoomデビュー ②オンラインで日本語を教えるための教材と教え方のポイント	①3 ②21	
2021	①1月21日（金） （Zoom） ②2月18日（金）	①ボランティアで話し合い ②福井　武司	①日頃の教え方の工夫や悩みの共有 ②①で出てきた悩みなどの解決について	①15 ②17	
2022	①1月20日（金） ②2月17日（金）	①ボランティアで話し合い ②福井 武司	①日頃の教え方の工夫や悩みの共有 ②①で出てきた悩みなどの解決について	①14 ②16	
2023	①2月9日（金） ②3月8日（金）	①ボランティアで話し合い ②福井 武司	①特に中上級者への教え方の工夫や悩みの共有 ②①で出てきた悩みなどの解決について	①17 ②17	

*　HIA「日本語学習支援アドバイザー派遣事業」利用

**　HIA「外国人児童生徒への日本語・学習支援アドバイザー派遣事業」利用

***　HIA「地域日本語教室への専門家派遣事業」利用

神戸大学海事科学研究科 ブラッシュアップ日本語

年度	期間	授業形式	人数
2014	前期（16コマ） 5月15日～7月3日	クラス	受講生:3、　講師:4
2015	前期（16コマ） 5月21日～7月9日	クラス	受講生:3、　講師:3
	後期（16コマ） 10月29日～12月17日	クラス	受講生:8、　講師:4
2016	前期（16コマ） 5月12日～7月9日	クラス	受講生:5、　講師:4
	後期（16コマ） 10月31日～12月22日	3限：クラス 4 限：マンツーマン	受講生:7、　講師:9
2017	前期（14コマ） 5月18日～6月29日	3限：クラス 4 限：マンツーマン	受講生:8、　講師:9
	後期（16コマ） 10月27日～12月21日	3限：クラス 4 限：マンツーマン	受講生:8、　講師:9
2018	前期（14コマ） 5月10日～6月21日	マンツーマン	受講生:11、　講師:13
	後期（14コマ） 11月27日～12月20日	マンツーマン	受講生:8、　講師:12
2019	前期（14コマ） 5月9日～6月20日	マンツーマン	受講生:10、　講師:14
	後期（14コマ） 11月17日～12月19日	マンツーマン	受講生:10、　講師:16
2020	後期（16コマ） 11月5日～12月24日	マンツーマン	受講生:7、　講師:9
2021	前期（16コマ） 5月13日～7月1日	マンツーマン （オンライン＆対面）	受講生:8、　講師:8
	後期（16コマ） 11月4日～12月23日	マンツーマン （オンライン＆対面）	受講生:8、　講師:12
2022	前期（16コマ） 5月12日～7月7日	マンツーマン （オンライン＆対面）	受講生:12、　講師:11
	後期（16コマ） 10月27日～12月22日	マンツーマン	受講生:20、　講師:14
2023	前期（16コマ） 5月11日～6月29日	マンツーマン	受講生:7、　講師:11
	後期（16コマ） 10月26日～12月21日	マンツーマン	受講生:7、　講師:7

海技大学校 海外研修生対象 日本事情講座

年度	開催日	人数
2014	4月9日、10日	受講生:9、講師:2
2015	4月７日、8日、21日	受講生:7、講師:4

防災教室、日本語教室文化祭

開催日	タイトル	内容	人数
2015年 2月21日(土)	春の文化祭　ひなまつり	日本語スピーチ、歌、ゲーム	44
2015年 7月4日(土)	夏の文化祭 七夕と日本の伝統文化を楽しもう	お国自慢、おにぎり作り、華道・茶道体験、七夕飾り	54
2016年 2月27日(土)	春の文化祭 おもちつき＆ひなまつり	もちつき、お国自慢、歌、ゲーム	59
2016年 7月2日(土)	夏の文化祭 日本の伝統文化 剣舞と七夕	剣舞と詩吟、七夕まつり、日本語スピーチ	46
2017年 7月8日(土)	なつまつり	日本語スピーチ、歌とゲーム、ヨーヨー、綿菓子、団扇、踊り	56
2018年 2月17日(土)	春の文化祭 ひなまつり＆日本語スピーチ	日本語スピーチ、お琴と三味線の演奏、歌とゲーム	63
2019年 2月16日(土)	防災教室＆春の文化祭	外国人のための防災教室（NIAと共催）、日本語スピーチ、歌など	65
2020年 2月16日(日)	防災教室＆春の文化祭	外国人のための防災教室（NIAと共催）、日本語スピーチ、歌など	42
2022年 7月2日(土)	夏の文化祭 日本語スピーチとたなばたまつり	日本語スピーチ、七夕飾り	50
2023年 7月8日(土)	防災教室＆夏の文化祭 芦屋を知ろう、みんなで楽しもう	防災教室(芦屋警察)、図書館に行こう(こども司書)、日本語スピーチ	38

NIA：(公財）西宮市国際交流協会

日本語教室施設見学（バス旅行）

開催日	行先	移動手段／助成金	人数
2013年 11月9日(土)	丹波竜化石工房、こんだ薬師ぬくもり温泉の郷、立杭丹波焼 陶の郷、パスカル三田一番館	貸切バス 走る県民教室	49
2014年 11月8日(土)	サンパティオおの、白雲谷温泉、三木ホースランド(乗馬体験)、柿狩り(友清柿園)	貸切バス HIA民間国際交流事業助成金	86
2015年 11月7日(土)	妙心寺(座禅体験)、太秦映画村	貸切バス／ユネスコ基金	52
2016年 11月3日(祝)	須磨海浜水族園、兵庫楽農生活センター(農産物収穫体験、他)、グリコピア神戸	貸切バス／ユネスコ基金	55
2017年 5月19日(土)	淡路島(震災記念公園、農産物直売所、淡路島牧場、たこせんべいの里、花さじき)	貸切バス／ユネスコ基金	52
2019年 11月9日(土)	法隆寺、東大寺、奈良公園	貸切バス／ユネスコ基金	30
2021年 11月27日(土)	人と防災未来センター	現地集合現地解散 ユネスコ基金	40
2023年 3月18日(土)	カップヌードルミュージアム、道の駅フルーツフラワーパーク大沢、いちご狩り(ながしお農場)	貸切バス／ユネスコ基金	25
2023年 11月18日(土)	瑞宝寺公園、有馬温泉	公共交通機関（阪急バス） 助成金なし	9

情報紙

ACAかわらばん

年度	発行	備考
2014	春、夏、秋、新春（84～87）	
2015	春、夏、秋、新春（88～91）	
2016	春、夏、秋、新春（92～95）、臨時号＊	95号よりカラー印刷
2017	春、夏、秋、新春（96～99）	
2018	春、夏、秋、新春（100～103）	
2019	春、夏、秋、新春（104～107）	
2020	春、夏、新春（108～110）	コロナ禍で事業が減り2020年夏号、2021年春号は2ページに縮小。
2021	春、新春（111～112）	
2022	春、初秋、新春（113～115）	
2023	春、夏、秋、新春（116～119）	

＊姉妹都市提携55周年記念市民訪問団 モンテベロ訪問記として7月に発行

コスモネット（広報あしやの抜粋記事を英語訳、毎月発行）

年度	発行	備考
2014	200～211号	自主事業
2015	212～223号	自主事業
2016	224～235号	自主事業
2017	236～248号	自主事業
2018	249～260号	2018年度～2019年9月号まで本来事業
2019	261～272号	
2020	273～284号	自主事業
2021	285～296号	自主事業
2022	297～308号	自主事業
2023	309～320号	自主事業

コスモジャーナル（広報あしやの抜粋記事のやさしい日本語・英語訳）

年度	号数（発行月）	備考
2019	1～3号	10月開始、本来事業
2020	4～9号	本来事業
2021	10～15号	本来事業
2022	16～21号	本来事業
2023	22～27号	本来事業

２０１４年度～２０２３年度　イベント等ちらし

2014年度 ➤



ハワイアンのタベ



こだわりの
アメリカンモダンフォーク



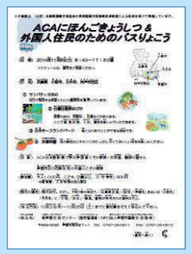
なつかしの 60 年代
フォークコンサート



第2回 ワールドフェスタ



ラフカディオ・ハーンを読む



日本語教室 バス旅行



第 50 回姉妹都市学生
親善使節 派遣・受入

2015 年度 ➤



ハワイアンのタベ



ウィーンで研鑽を積んだ
演奏家による夢の饗宴



クラリネット五重奏
春を待ちながら



第３回 ワールドフェスタ



内田樹 講演会


イギリス
19 世紀末文学の魅力



ゲーテとともに
「いま」を生きる



第 51 回 SA 募集



姉妹都市提携 55 周年
市民訪問団参加者募集

2016 年度 ➤



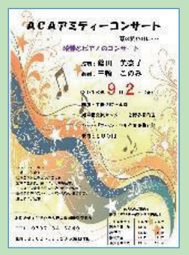
25 人編成による
リコーダーコンサート



ハワイアンのタベ



おやこふれあいコンサート



ACA アミティコンサート



ゲーテ『ファウスト・悲劇』の
宇宙



いま、しばしゲーテに
こだわって



インドネシアの日



第４回ワールドフェスタ



第 52 回 SA 募集

2017 年度 ➤



ハワイアンのタベ



ウィンターコンサート



おやこふれあいコンサート



第５回ワールドフェスタ



タイ王国の日



ドイツ文学の世界から



ムラカミワールドを探る



第 53 回 SA 募集

2018 年度 ➤



シャンソンの花束



ハワイアンのタベ



おやこふれあいコンサート



第６回ワールドフェスタ



英語落語



カズオイシグロの世界



小説家としての小林一三



国際交流セミナー



134 回 イギリス編



135 回 インド編



136 回 タイ編



137 回 インドネシア編



138 回 ブラジル編



139 回 ケーキとキッシュ編



140 回 スイス編



141 回 パーティ編



142 回 ノルウェー編



143 回 ドイツ編



なかもとみえこ先生
英語教育ワークショップ



第 54 回 SA 募集

2019年度 ➤



ハワイアンのタベ



マリンバとピアノ



クリスマス JAZZ
コンサート



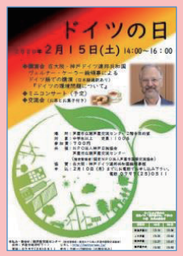
第 7 回ワールドフェスタ



井原西鶴と元禄文化



お能の世界にふれてみよう



ドイツの日



144 回 イタリア編



145 回 ネパール編



146 回 初夏を味わう
日本料理編



147 回 スリランカ編



148 回 エジプト編



149 回 フィリピン編



150 回ルーマニア編



151 回 お正月編



152 回 イタリア編



日本語教室 バス旅行



第 55 回 SA 募集

2020 年度 ➤



158 回 エジプト編



159 回 タイ編



160 回 フランス編



161 回 お正月編



162 回イラン編



163 回 コスタリカ編



ミャンマーの『今』を
考える



ハープ&ピアノの調べ



English Reading Salon

2021 年度 ➤



164 回 南インド編



165 回 韓国編



リコーダーと弦楽のしらべ



「グローバル社会の
コミュニティ防災」



脳の話



人と防災未来センター
施設見学

2022 年度 ➤



ソプラノ、フルート＆ピアノ



ハワイアンのタベ



クリスマス JAZZ コンサート



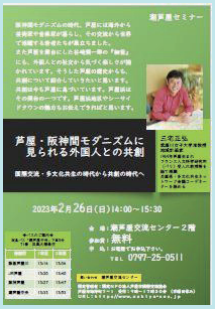
桂かい枝の
やさしい日本語落語



パンデミックと文学



ママも楽しむ
親子英語クラブ



芦屋・阪神間モダニズムに
見られる外国人との共創



ミャンマーの日

2023 年度 ➤



アルパコンサート



ハワイアンのタベ



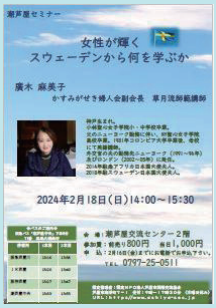
JAZZ コンサート



多文化共生講座
RAKUGO & 仏蘭西



日本在住のカナダ人から
見たカナダの魅力



女性が輝く
スウェーデンから何を学ぶか



第 57 回 SA 募集

編 集 後 記

芦屋市国際交流協会（ACA)創設30周年を記念して、10周年・20周年に続き「30周年記念誌」としてこの10年間の歩みを記録し纏めようと言うことになりました。

その準備や執筆に当たっては、2023年12月より協会内にて5名が委員となり、出来る限り資料を集める共に多くの関係者の方々に寄稿などの協力を仰いで数か月にわたり打合せを繰り返し、この度「30周年記念誌」を何とか完成することができました。

この10年を振り返ると、温暖化による自然環境の劇的変化、デフレなどによる経済の低迷、新型コロナのパンデミック、ロシアとウクライナやイスラエルとガザの侵攻・戦争など地政学的リスクなどの問題が顕著となりました。一方我々ACA内でも認定NPO法人の認可を取り付け、ラ・モール芦屋を購入、「作って食べよう世界のレシピ本」の出版など幾多の出来事やイベントを行ってきました。

また新型コロナのACAへの影響も顕著で、長年実施してきた姉妹都市モンテベロ市との学生親善使節や両市市民訪問団の交流を3年間中断し、潮芦屋交流センターも一時閉館せざるを得ない状況に追い込まれました。

そして何よりも残念な知らせとして、この姉妹都市交流に多大なる貢献のあった相原八重さん、そしてACAの会長で館長でもあり「料理教室」などACAに枚挙にいとまがないほどの貢献をして頂いた橋谷静子さんがご逝去されたことです。

改めてご冥福をお祈り申し上げます。

この「30周年記念誌編集委員会」のメンバーとして、リーダーとして田中明（副会長）、国際事業委員会から番留委員長、国内事業委員会から稲鍵さん、外国人支援委員会から植田委員長、そして事務局の山岸さんにご参加いただき、ベテランから数年のACA経験者と言うバラエティーに富む素晴らしい方々が集まってくれました。

本記念誌を纏める基本方針としては、ACA創設20周年目以前のことは10周年や20周年記念誌に記載されているので簡単に触れることとし、それ以降の2014年度から2023年度の10年間の出来事を中心に記録に残すということとしました。

委員会の打合せの中で何度となく内容の修正や目次の書き換え、読み合わせを行い、出版社の方とのミーティングを通じて文章のバランス、表紙のデザイン、写真のサイズや位置などを決めて行きました。

中々現代流クールな記念誌とはなりませんでしたが、囲み記事で個人の感想を挿入したり、カラフルなちらし集を取り入れたりして、何とか完成にこぎつけました。

いまは正直ほっとしています。

この記念誌が今後のACAの将来の発展と新たな創造のための一助となれば幸せです。

最後になりましたが、編集に際し多くの方々に寄稿をお願いしたこともあり文脈・文調が統一されず、読みずらい箇所をあると思いますが、ご容赦戴きたいと思います。

本編集にあたり暖かい支援とご協力を賜った関係者の方々に心より御礼・感謝を申し上げると共に皆様の今後のご活躍を祈念致します。

2024年　6月　　編集長　田中　明

編集委員 （敬称略）

田中　明

稲鍵　亜早子

植田　多江子

番留　均

山岸　千香子



認定ＮＰＯ法人 芦屋市国際交流協会

設立３０周年

記　念　誌

発行／２０２４年（令和６年）６月３０日
編集／認定ＮＰＯ法人 芦屋市国際交流協会
芦屋市海洋町７番１号
ＴＥＬ：０７９７－３４－６３４０
印刷／（株）大阪国文社

認定NPO法人芦屋市国際交流協会

ASHIYA COSMOPOLITAN ASSOCIATION